顧問　大隈重信
同　森村市左衛門
會長　島田三郎
副會長　安部磯雄

廓清

第五卷　第八號

■廓清時言……伊藤江南
□多妻主義と國運……實業家　堀越善重郎
■謙信の制慾訓……松田秀作
□文明とは何ぞや……早大教授　內ケ崎作三郎
■眞を求めよ……福井壽郎
□社會の四大病……哲學博士 神學博士　元田作之進
■藝妓の內容と害毒……大阪府會議員　金光萬錄
□賣笑の研究……文學博士 醫學博士　富士川游
■軍隊の精神教育……木村盤根
□二十世紀の婦人……三輪田高女校長　三輪田眞佐子
■廓清會事業報告……廓清會理事　益富政助
□家庭の平和と同情……高島平三郎
■天皷の響……手塚藤太郎
□旅行と禮儀……文學士　小松武治
■熱血紅涙……會員の聲

東京　廓清會本部發行

私の考では、Purity若しくはSincerityでないものは滅ぶ。

(前號『廓清』福來博士言)

ライオン齒磨は、少なくとも各人の純潔を資けむとし、眞實を保たしめむとして、日夜良品の提供に腐心しつつあり。

(ライオン齒磨・ライオン石鹼本舗)

齒科治療

自午前六時 至午後十時

吉瀬齒科醫院

東京市日本橋區坂本町三十番地

院長 吉瀬才市郎

會告

廓清會本部移轉

今般廓清會本部を左記の處に移轉す

東京市芝區三田四國町二番地

廓清會本部

電話芝五八五五番

身體無害 有効保證

さけきらいになる藥

禁酒丸

●定價 半週分六拾錢 ●貳週分壹圓九拾錢
一週分壹圓 ●三週分貳圓八拾錢

からだに少しもがいなくどんな酒●煙草のみでもきらいになり益々壯健になること保證早くためして御らんなさい

禁煙液

たばこきらいになる藥

●定價五拾錢 ●壹圓 ●壹圓五拾錢●

●●●郵券貳錢送附あれ所藥の説明書送る●●●●

本舗 大阪靱南通二丁目 森田商店

●御送金は振替口座大阪貳二壹二六番

■ ■ ■ 支部分會を作れ ■ ■ ■

集合は力也會員各位の奮起團結を促す

廓清會支部準則

第一條　廓清會は各地に支部又は分會を置く

第二條　支部は貳拾名以上の會員所在地に之を置き分會は貳拾名未滿の會員所在地に之を置く

第三條　支部又は分會は其地方の市區町村名を以て之に冠す

第四條　支部又は分會に會員の互選を以て幹事を置く幹事の人員及任期は各部會に於て適宜之を定む

第五條　幹事は支部又は分會一切の事務を掌る

第六條　支部には支部員の推選により支部長を置くことを得

第七條　役員を推薦したる時は直に本部の承認を經可し

第八條　支部長所在地にありては支部長支部を代表し支部長なき支部又は分會にありては幹事之を代表す

第九條　支部及分會は毎月壹回例會を開き、時々演說會、講演會、研究會等を開き、其他適宜の方法により本會の主義思想を宣傳し其地方の風敎道德問題の爲に努力するの義務あるものとす

第十條　支部及分會は本部に對し運動の爲め講師其他の應援者を要求することを得但之に要する實費は支部又は分會の負擔とす

第十一條　支部及分會の費用は其支部又は分會の負擔とす

夜學 生徒募集

一、二、三學年共

九月一日授業開始

本校 一年級ハ中學一、二年級 二年級ハ中學二、三年級 三年級ハ中學三、四年級 四年級ハ中學五年級 ニ學科目相當ス

□缺員アルトキハ隨時入學ヲ許可ス

□授業毎日午後五時ヨリトス

□規則書入用ノ者ハ郵券二錢封入申込ムベシ

東京市小石川區久堅町九九

私立 中等夜學校

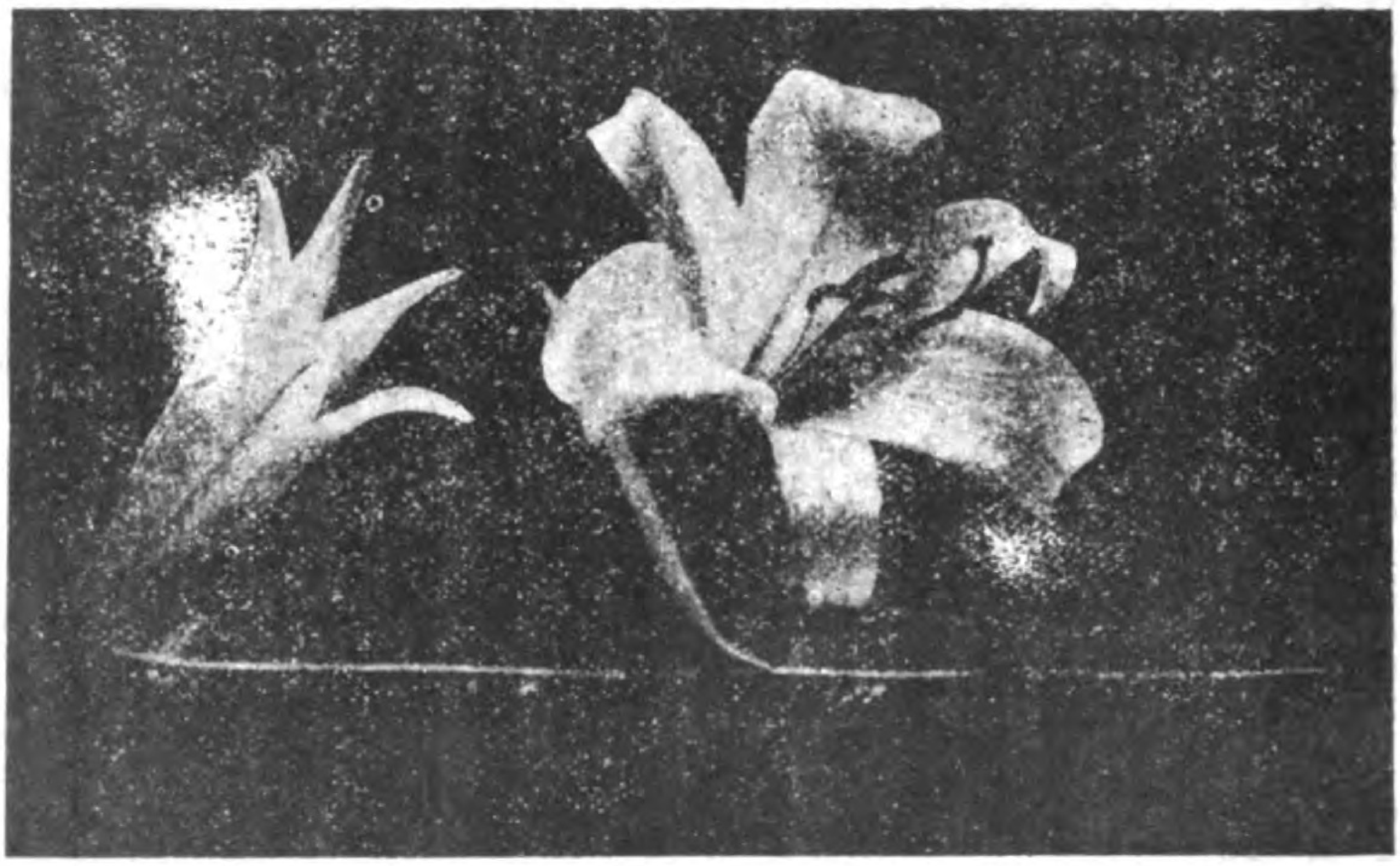
校長 江原素六

主監 水津謙介

廓清
THE PURITY

大正四年九月

第五卷　第八號



廓清時言

大隈内閣の改造

大隈内閣は瀆職事件に引責して總辭職をなしたりしが、一部の改造を行ひて居据る事となれり。そが果して立憲的なりや否やは吾人の論題以外に屬すれども、人格主義として吾人の謳歌したりし内閣より此醜問題を出したるは、國家風敎の上より觀て眞に悲しむ可し。乍併大浦氏の後に報德宗の一木氏を得、更に箕浦、高田兩氏の如き人格者を得、相變らず『非新橋内閣』の稱を恣にするを得るは又以て吾人の喜びならざらんや。

これに就きて二つの興味ある報道は、新橋邊りの女將連が『今の内閣の方々は不粹な人達故不景氣にて困る、藝妓買ひの一つも知らぬやうなる大臣さんは早く變つて貰ひたいものよ』と噂し合へること、亞米利加の新聞紙が、藝妓排斥の内閣總辭職したるは惜しむ可しなしたる事とす。

瀆職問題と國民の覺醒

瀆職事件の中心なる大浦氏が、個人としては淸廉謹嚴、家庭も極めて圓滿なるを思へば、今次の瀆職事件は這裡に甚深なる意義あるを感ず。蓋し個人として淸廉なる大浦氏が何故累を内閣全體に及ぼし禍を國民の風敎に與ふる程の事を敢てせしかと云へば、そは實に彼が過去の政治家なりしが爲のみ。卽ち過去の政治界に於ては此種の事は何等の非行と見做されず、政治家當然の餘得なりと思惟し、平然行はれ來りし所なりき。

明治維新前後の國士志士と稱せらるゝ元勳が國家に大功あるに不拘貞操の問題を理解せずして此方面に顰蹙すべき幾多の行爲を殘して、今尙靑年を毒しつゝあるが如く、明治末期迄の政治家は瀆職の問題に就ては自覺なく、共に謂はゞ識らざるの罪なりしが、今や一大社會問題となりて殘存する過去の政治家連の心膽を寒からしめつゝあるは、之れ大正の新機運、國

民自覺の潮流の躍動を語るものに非るか。

法律の權威と道德の權威

一朝法網に觸れて獄裡の人とならんか、飛ぶ鳥を落さんずる勢ひありし人とても、忽ちにして一世の指彈を受けて天が下に隱れ家もなき程となる、人心の表裏反覆の甚しき轉た無情を感ずる程なる一方、道德上の問題ならんには假しや如何程神の法廷に嚴罰を蒙るべき者なりとも、而して其罪狀の公知の事なりとも、世人は知らず顏して何の咎むる所なきは實に奇怪千萬也。吾人は玆に其氏名を掲ぐるを好まざれども、カッフエー夜話の著者にして、常に婦人の節操を蹂躙するを以て無上の快樂とし誇りとし、風紀紊亂の元兇たる觀ありし某氏に對する世人の態度に就て特に此感を深うす。

眞新婦人會の內訌

眞新婦人會の存在が果して幾何の價値ありやを知らざる余は、其の內訌に就て云爲するも妙なれど、それに就きて一言したきは問題となりたる青柳某の演說とす。女子半獸論を以て知られた彼を辨士とし、演壇より婦人を罵倒せしめたる一事が少くとも內訌の原因たらざる迄も動機たる可きは吾人の確信し、且つ其の然らん事を望む所なり。何となれば青柳某氏は個人としては眞面目な紳士にて家庭も圓滿なりなど、態度も彼の爲めに辯する者あるを聞きたれど、而も彼の如き風紀攪亂學の大家は稀なり、吾人は彼が社會に大害を流しつゝある以上、飽迄彼を社會より葬る可きものなりと信ず。淫猥擁護演說會の最も適當なる辨士たる彼を迎へし、婦人の解放を叫ぶ眞新婦人會の聽衆中、一人の憤激して應戰したる婦人なかりしを悲みたる余は、せめて內訌の報に聊か溜飲の下る心地するも無理にてはよもあるまじ。

御大典奉祝歌選定に就て

今上陛下御卽位の大典は、億兆の等しく滿腔の慶賀を捧ぐ可き最も尊嚴なる盛儀也。されば其奉祝歌を募集するに當りては、平素詩人を以て任じ藝術家を以て立つ人達は眞先かけて、鬼神を泣かしめ天地を動かす底の歌を咏み出す可き筈なるに、更に名ある人々の應募したるを聞かずして、平凡なる歌の當選したるは殘念なり。而して其歌詞中「黑酒白酒を取そへて」とある一句に就き、選者中の一二の間に問題となりたる由にて其時の論議を新紙の傳ふる所に見れば、不謹愼なる彼等の選定振り躍如たるものあり。しかも偶々此歌により作者の心理と、選者の心理とぴたりと合つて酒なくては祝ふ道を知らざる國民性の暴露されたるを惜しむ。

藝娼妓學校頻出の傾向

近來各地に藝妓學校、又は娼妓學校を起すの風漸く瀰蔓の模樣あり、之れ個人より團體に、更にトラストとなりシンヂケートとならんとする現代に於ては當然の傾向なるが、之を藝妓娼妓の技術を授くる養成所と見ば、最も悲しむべき形勢といふ可く、之を學問婦德を授くる機關なりとすれば喜ぶべき現象といふ可し。然れども若し果して彼等に學問を授けん爲とならば、其敎育は遂に失敗に終らん。藝妓若くば娼妓の如き職業と衝突する事なきが如き敎育なるものゝ存在する筈なし。吾人は各地にて藝娼妓に對し、僧侶其他の精神家が訓話をなしたりなどいふ事實を見聞する每に噴飯を感ず。（江南）

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

賣笑の研究

醫學博士
文學博士　富士川游

（一）

「性」といふものを一の學問にした傾向は餘程古くからある。佛蘭西に於て明に之を學問として取扱つたのは、彼の醫師として有名なるブロッホ(Bloch)であつて、千九百六年セキス、オロジイなる一書を公にした。私は主として此中から賣笑に關する研究をお話して見たいと思ふ。

賣笑に就ては、從來研究した人は決して尠くない。賣笑の歷史を書いた人も廣く世に行はれてゐるのに二人ある。一人はカーレンシャと云つて可成浩翰な著述があり、一人はデッフオアーと云つて、之は主に梅毒の研究より來てゐる。此人は通常デッフオアーで通つてゐるけれども、ロクロイといふのが本名である、氏の研究方法は、パーレンシャと共に既に舊いのであつて、私が茲に話をしやうと思ふのはさういふ舊い方面でない。賣笑は勿論古い問題であるから、種々の方面から研究が出來て居るけれども、要するに生理學上からいふ醫學の一部であるから、此賣笑問題に就ては、ブロッホ以後卽千九百六年以後の研究方法により、各學者の說に就てお話しをするのであるが、私は生物學的の研究を先に立てゝ然る後他の方面に移つて行く考である。生物學的の研究にも外から見るのと內から見るとの別がある。今日は其內の方面に就て申して見たい。

一體性慾の本能といふものは、動物から續いてゐるものである。といふと多少語弊があるけれども、人が通常歷史前といふ時代、人間の形が出來るやうになつた其のずつと以前にありては、其時代の性慾の本能は殆んど動物と擇ぶ處はなかつたのである。第一無差別的である。現在の人間のやうに差別的ではない、第二性慾發動に一定の時期のあつた痕跡を有する事である。それは今日の人間生活の狀態から考へても或は四月であるとか、五月であるとかいふやうな或時期には子供が餘計に生れる。之は遡つて見ると一定の期に受胎の機が多いといふ統計を示す事になるのであるから、それが卽ち人間の原始時代に於て恰も動物の交尾期の如きものがあつて一定の時期に發動したものであらうと考へられ得る理由である。私は此事に就て嘗て「人性」といふ雜誌に書いた事があつたが、果してそれが事實であるか否かの證明は出來ないけ

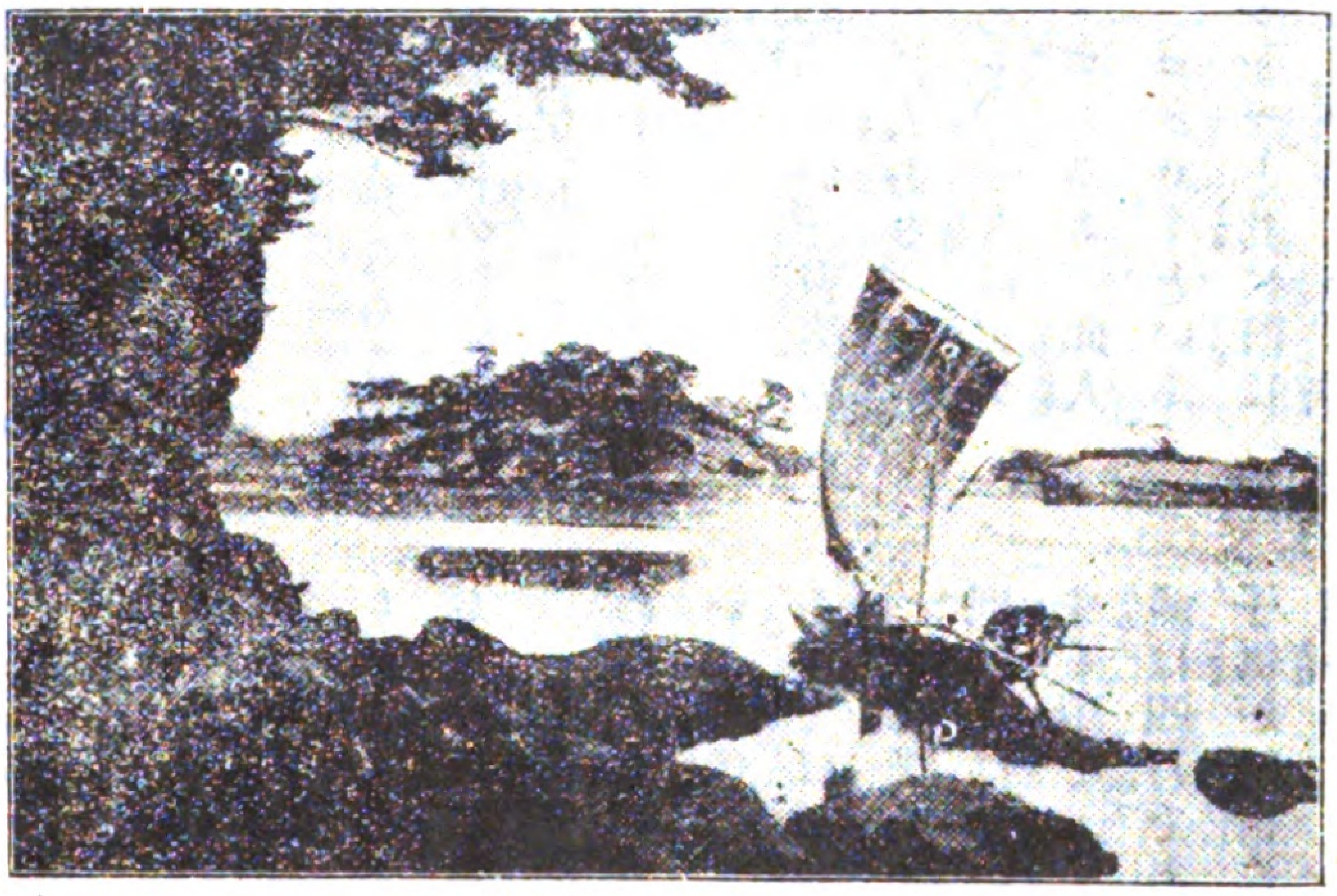
Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

れども、尠くとも斯ういふ推究を拒む事は出來ない。

(二)

これ等は今日の我々の生殖生活としては餘程不思議であつて、此場合にては生殖生活はプロミスクイテート(Promis kuitet)の狀態にあつたものと思ふ。プロミスクイテートといふ事は、其生殖の働をするに、對手を選ぶ事なくして、即ち無差別の狀態にあつたといふ事が云へやう。乍併之が石器時代になると餘程進んでゐる。歷史前と何處が違つたかといふと、石器時代に入つては、生殖が身體的と精神的とに區別された。即差別的は之から始まつてゐる、其時代の生殖生活で今でも遺つてゐるものは華美な着物である。其華美としての材料は赤い色彩である。野蠻人種で今遺つてゐる濠太利亞の石器時代に出來たものを調べて見ると、やはり赤い色を以て生殖の餌としてゐる。即ち石器時代には差別的となり、其差別的にも身體的と精神的と生殖生活の上に區別が生じて來たのであらうと思ふ。

之に就て色々面白い事がある。千八百九十二年にピット(Pitt)といふ人が堀り出した象牙でこしらへた石器時代と思はれる女の像がある。又千九百九年にウイルレンドルフに同じく女の影像を堀り出したが、何れも其彫刻が殊更或る部分の處に著しく人の眼につくやうに出來てゐる。そして其時同時に掘出したのは主に動物の彫刻であつた。これは其時代には自分の眼につく手近なものに重きを置いたらしく、ピットの像でもウイルレンドルフの像でも之は自然の動機で出來たものであると考へられるが、つまり自分の好きなものを彫刻したといふやうな譯で、其好きなものゝ中に動物と婦人が多く、其婦人は殊に或部分が明瞭に彫刻せられてゐるといふやうな譯である。



鷺飛んで見ぬ海涼し町の裏

それから人間が進歩して極原始的乍ら幼稚な團體といふものが出來る。宗教の考が起きる、學問の考が起る、そして羞耻の觀念が生じて來る。プロミスクイテートの時代には羞らうといふ心がなく、恰も生殖生活を以て飲食同樣として、人の面前に於て之を行つても耻としなかつた。今日でも印度の或野蠻人種に限つて此風習がある。(併し之には宗教の關係もあるのであるが)而して所謂第三期に入つては精神的と身體的と性慾は立派に差別的となる、最初男と女の性慾は全く同じであつたのが段に違つて來る、さうすると其婦人といふものが妊娠する。斯うなると一定の時期に限つて生殖を休まなければならぬ、於是かプロミスクイテートの所謂何人を選ばず生殖生活を營むといふ事が止んで、何等かの方法を以て自由に生殖生活をしなければならぬ即ち玆に性慾の缺陷が生ずるのであつて、其頃から賣笑が初まる。

然らば此賣笑の始まるのはプロミスクイテート以前かといふと、其間は非常に時期が長いのである。其時にかの獨逸語でいふGruppenehe（群族的婚姻）なるものが出て來る。一定の男子、一定の女子が性慾的の團體を作る。多數の一定の男子、一定の女子が性慾的團體を作る、多數の一定の男子と多數の一定の女子が婚姻的の性慾團體を作る。それからポリーアントリー卽ち一人の婦人が多數の夫を有つ時代となる。それが又進んでホツデニーといふ所謂一夫多妻となる。卽ちプロミスクイテートから、多夫。多夫から、多妻。多妻から今日の狀態に變轉し來つたのである。

（三）

賣笑は如何なる方面から如何なる形を以て表はれ來るかといふと、宗敎の感覺と性慾の感覺の近似にある。全く同じとは云へないが此二つの感覺は殆んど同一である。其始めを論すれば醫學の元、卽治療するといふ事も其形は殆んど變らない、宗敎的の感覺も皆此の治療の感覺も全く同じものでないかと考へられるのである。それ故に初めは人間の發育の極若い時に宗敎的感覺と性慾的感覺とは漠然として一種の慾望であつた。其慾望はお互に混同されて、性慾も飲食も同樣に心得、之を恥とする事なきのみならず、寧ろ之を以て神の旨に合するものとしてゐたのである。

而して此心理作用が進んで宗敎的賣淫なるものが生じて來るのである。此宗敎的賣笑は餘程古くからあつて、殊に寺院賣笑といふものは日本でも西洋でも可なり古い、それが少し進步すると接待的賣淫となる。客が來た時に其客を接待する意味で賣笑が出來るのである。此宗敎的賣笑にも色々あつて或は神に敬意を表するもある。此後に於て今日の所謂社會的賣笑――法律的賣笑といふものが出來たのである。

そこで此賣笑の歷史に鑑みて古說では、賣娼は社會の發達に伴ひ、文明と同時に益〻跋扈するものであつて、之を除くといふ事は六ケ敷い、人文發達に伴ふて起る一の害惡であるとした。所が千九百六年以後は先づさうでないだらうといふ說が出たのである。それは人間の衝動から起つて來たもので文明になつて始めて起きたのではないといふ、而して其衝動は動物から來たものであらう、文明の爲に形が變り種々變遷したらうけれども、其元は動物の本能の衝動的の働であつて文明に依つて此ものが起きたとは云へない。

それに梅毒といふ病氣がある。賣笑は人間の本能に關係したものであるけれども、之は文明の結果と見てゐるのである。プロミスクイテートの時代にも、石器時代にも梅毒があつたといふ事を說く人があるが、之はあつたとは信じられない、多數の人の說によると之は十五世紀の頃歐羅巴に出來た病氣であるといふ事である。今日の有樣を以て云へば梅毒と賣笑とは多く伴つてゐるのである。

（四）

賣笑の原因に就ては、經濟上の關係から賣笑が起きるとい

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ふ事をよく人がいひ、古くから行はれてゐる說であるが、併し之は其原因の全體ではない、一因たる事に於ては勿論吾々も拒ばないものであるが、尙此他に內的關係卽ち性慾生活の關係の方に餘程興味ある原因があるものと考へねばならぬ。

私は此性慾の事に就て我國のを多少調べて見たまだ發表するだけの成績は擧つてゐないが、大體に於て西洋と違はないやうに思ふ。第一は變性といふ說である。之は御承知の通り伊太利の精神病の專門家であるロムブロゾー(Rombrozo)といふ人が熱心に調べた結果は犯罪者に一種の變性があるといふことを見出し、賣笑といふものも犯罪と同じ狀態である、恰度女子の賣笑は男子の犯罪と同じものであるといふ樣な說を立て、そして其身體の變性を認めた。犯罪者の中に文身する者が多い、賣笑婦にもそれが多い、賣笑婦なるものは子供の時から噓をいふ、又不貞の徵候があつて行が放逸である、等色々の例を擧げてかういふやうなことを綜合し、賣笑婦を以て先天性と斷定した。ロムブロゾーの說く處は勿論噓ではない、けれども其者が必ずしも賣笑をしない。又先天性以外の賣淫者ある事も爭ふ可からざる事實である。ロ氏は犯罪者に對しても同樣の說を立てゝゐるが、それは雙方とも云ひやうが過ぎてゐるのである。賣淫を好む者を調べて見ると身體が變つてゐる。又犯罪人を調べて見るとやはり身體が變つてゐる。之は確に變てゐるのであるが、尙それ以外に後天的に變はつた者がある。それが賣淫をするものがある。又ロンブロゾーのいふが如き狀態であるとすれば、此賣淫は性慾に少しも關係がない。倫理的觀念が缺けてゐる爲にさういふ惡い事をするので性慾とは殆んど關係がないといふ事となるのであるが、それも違ふのである。名高い說であるが變性ばかりで賣淫が出來るものでないといふことは確である。

（五）

それから社會的方面である。私のは主に醫學的の方面をいふのであるが。子供の時から賣笑の澤山ある所に住んでをつて周圍が惡い爲にそれを見習ふとか、又敎育が惡い結果として早くから賣笑になるといふ事は爭はれぬものと思ふ。併し此場合吾々の方面から見て遺憾に思ふことは外の原因を重く見て、內の原因を度外視せられてゐる事である。此場合でも住居の周圍の不良の爲に、又は早く親に離れて賣笑婦になるといふ事實はあるけれども、乍併斯の如き者が誰でもなるかといふとそれは疑問である。昔から泥中の蓮とかいつて、中中感心な例が澤山ある。無理に押込めても這入らぬといふ事に就ては、どうしても內の原因を度外視することは出來ぬと思ふ。乍併世間では動もすると外界にのみ重きをおく傾向がある。吾々の醫學に於てもそれを見るのである。例へば虎列刺が流行する、とする虎列刺は黴菌であつて此菌が身體の中に這入らなければ虎列刺病は發生するものではない。それでは凡ての人が虎列刺菌を身體の中に入れると病氣になるかといふとさうではない、虎列刺菌が這入つても虎列刺にならぬ人がある。所謂虎列刺菌携帶者と云つてそれを外の人に傳染する人がある。けれども此場合何時でも虎列刺菌さへ身體の中に這入れば病氣になる、虎列刺菌が虎列刺になると凡ての人が信じてゐて、醫學に從事する人さへかういふ傾向がある。如斯賣笑に就ても社會的關係、外因は勿論認めなければ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ならぬけれども、同時に內因が備はらなければ賣笑は成立しないのである。之を經濟的關係からいつても、例へばどうしても金が儲からない、處が此賣笑をやると一圓の金を得るのに困難な身を以て容易に五圓を得る、といふこれだけの關係を以て果して賣笑が出來るかどうか疑問である。

（六）

以上は賣笑の原因を內因と外因とに分けて婦人の方面から見たのであるが、然らば男子の方面から見てどうであるか、男子がなければ婦人が營む所の賣笑といふものはなくなる、其婦人が營む賣笑……男子が要求する所のものはどうである或は性慾のことであるとか、其他色々の原因があつて、餘程複雜してゐるが、世人が思つてゐるよりも餘程以外の事は、男子の増加率よりも賣笑婦の増加する勢が激しい事である。之は西洋に於ても日本に於ても爭ふ可らざる事實であつて、男が十人増す割合に女も十人の割合を増せば、男が要求するから増すといふ事は直にいへるけれども、男が十人増して女が二十人増すといふことに就ては、男子の要求する以外に何か原因がなければならぬといふ事は何人も首肯するであらう之は實に考究を要する問題であるのみならず、賣笑の要求は單に性慾の爲かといふと、之を西洋の人も書いてゐるが、妻子を有して尚賣笑婦に接する人が澤山ある。して見ると之は單に性慾といふ事より外に、今少し他に生理的關係があらねばならぬのである。今日迄諸家の調べた處によると、之は單に性慾の問題に限らぬのである。之に就ては所謂性慾の上意識と下意識とが含まれてゐるのである。生殖生活の極々初期時代にありては、性慾を滿足せしむるべく少しも支障なく自由勝手のプロミスクイテートの狀態にあつたものが、文明の進歩と共に道德といふ準繩規矩を生じ、人間生殖の基となるべき本能は文明生活の爲に怎うしても壓迫を蒙つて來るのである。さうすると上意識だけ表面に現はれて下意識は壓迫されて了ふ。此下意識の壓迫は消滅するのでなくして、潜在するのであるから折に觸れ機に乘じて頭を擡ぐものである。之を潜在意識とでもいはうか、かくして卽ち賣笑といふものを男子が要求する基となるのである。

（七）

以上述ぶる處によつて賣笑が成立し、之れが繼續せらるゝと、精神と身體に變化が起きる。今日の場合では賣笑は婦人であるから賣笑婦であるが、此賣笑婦の心理狀態の變化は第▲一に極めて生殖生活を放逸に滿す爲に生理上身體が虛弱になり精神は墮落して了ふ。そして羞恥の觀念が減るのであるが更に斯の如き狀態になると其精神的肉體の上に一種の變性といふものが起る。之に就てはウルフエル(Wulfer)といふ本が出來てゐて、其中に此賣笑婦の心理狀態が大分詳しく書いてある、其變化は之を性慾倒錯(Perveritat)と云ふのであつて、賣笑婦の精神に現はれる變化である。賣笑婦の生殖生活は單に自動的ばかりでなく、他動的であり、御客樣の氣に向くや

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

うに生殖生活を營まなければならぬ。それ故斯うした變化を作る機會が多いのである、卽神經系統を害して通常の生殖狀態を以て滿足する事が出來なくなつて、種々の變異を好むに至りそれが嵩ずると遂には全く倒錯の二種類なるマソヒソムス（Masohisomus）か、サヂスムス（Sadismus）に陷つて戰慄すべき狀態に至るのである。

マソヒソムスといふのは通常の性慾滿足の形式を一變して對手から慘酷な事をされる事によつて性慾を滿足するものである。サヂスムスといふのは對手を慘酷な目に遭はせる事によつて性慾を滿足するのである。この名稱はこんな名前の人が倒錯して居つたから其名を冠して用ひるに至つたのであるが、マソヒスムスは殊に賣笑の生活を營むものに多くを見出すのである。神經系統を害するから斯ういふ結果になるのは止むを得ないのである。一體心理學の敎ふる處によると人間は慘酷なものである。元のトリーブがそうであるから、動物の狀態の時に慘酷であつたのが今でも殘つて居て衝動的に現はれるのである。それが敎育が進んで來て、幾分慘酷な事は和らいだけれども、時として其慘酷が生慾の方面に現はれて來る。其場合が卽マソヒソムスである。

而して此生殖生活をする上に於ては、どうしても男子の方が積極的で、女子の方が消極的であるから、無論マソヒソムスは男子に多いけれども、女子にもある。女子に現はれたのが賣笑生活である、之が普通健康の人であるならば妊娠であるとか月經であるとかといふ生理上の變動に際して精神的にも變動が起つて來て、矢張マソヒソムスが起るのである。

（八）

之と同じやうに同性慾（Homesexell）といふものがある。婦人と婦人、男子と男子の間に一種の生殖生活を營む。之は西洋にも日本にも例がある。殊に驅黴院にゐる者がよく此れをやる。私は大阪の驅黴院に行つて之を實見した。之は或程度迄は分るけれども容易に知れるものではないが、驅黴院に入院すると無聊からお互で一種の團體を結ぶに至るのである。

此マソヒソムス若くはサヂスムスは普通の人間にもあるけれども主に精神病者である。輕いのは狀態が漠然として成程さう云はれて見ると分るけれども、普通に見ては分らない、娼妓であると明に其關係が分る爲にこれ迄西洋の廢娼論者が喧しく云つてゐる、娼妓がそのやうな精神狀態に陷るから廢娼をしなければならぬといふやうな事が其論據中の一となつてゐる。併し之は敢て娼妓に限る譯ではない、此事に就ては又他日折があつたらお話する事とするが、之が著しく現はれてそれが病的となるとか、尚進んで犯罪となるのである、コクロニー的マソヒソムスになると身體を澤山叩かせて其瞬間時に性慾を滿足させる。甚しいのになると針で突く、又小刀で突くのである、併し其多くは打つ事によつて其性慾を滿足さするのである。斯かる場合は精神病であるが、そうでない場合がある。古い新聞を見るとよくあるが、(今は禁じてゐる) 獨逸のストリングサヂスムス英吉利のコルセツトヂスプリンはコルセツトを締めて、窮屈を忍ん

で性慾の滿足を得る、併し此中撲つのが最も多い、男子が相手の婦人に叩かせるのである、或は男子が婦人を叩くのである。

（九）

然らば身體上は如何といふとやはり著しい變化が生ずる。之は古くより研究されてゐて、千八百二十七年に『婦人』といふ本が出來て、其中に賣笑婦は度々懷抱する爲に其身體が男子的になる、其胸を働かす處の筋肉が非常に發達する、其爲に男子的となるといふことを言つてゐる。それから其次に賣笑婦は身體の機能を扱ふ結果受胎しない、身體に變化が起つて身體が發育しない、甚しきになると凡てが男子と殆んど違はないやうになる。フレルラといふ人の説によると『全く賣笑婦は同性慾の意志』であるといふ。此説は或は極端であるかも知れぬが身體が男子的になるといふ事だけは確である、怎うしてさうなるかといふ事に就ては別段六ケ敷い解釋を要しない、賣笑婦の生活が凡て男子的であるからで、酒をのむ煙草をのむ、夜は遲く迄起きてゐる。かうした放縱生活をする結果風をひく、其結果として最もよく氣の付くのは賣笑婦の音聲が男子的になることである、娼妓の聲はかすれてゐる、普通女のやうな●●きい／＼した聲は殆んど出ない、太い聲で男子的である、其他或は頭髪が薄くなるとか、皮膚の光澤を失つて彈力性がなくなるとか、兎に角そのやうな變化が起つて來る。其變化の起ることに就て大分調べた人があるが、纒めて見ると、賣笑生活に入つてから其身體がかういふ風に男子的になるのは、早くて五年遲くて十年といふのである。伯林の皮膚病專門家であるブラシコー（Brashiko）は自分の家に傭つて居た下女が花柳病に罹つてそれが六年目に來た時には、いつか立派に男子的の身體になつて居つたといふ。さうするとブラシコーの實驗に從へば六年である、要するに五年乃至十年賣笑生活を營む者は男子的の身體になるといふ事は言へるのである、（此の變性の恐るべきは本年一月號に詳說してある）

（十）

大體身體上に起る變化はこんなものであるが、然らば此賣笑の原因……墮落をどうして矯正するか、といふことが問題である、之は實際問題であつて餘程六ケ敷い、此問題に就ては皆樣も疾くに御研究のことゝ思ふのであるが、私は醫學の方面の事だけを一言申上たいと思ふ。

先づ醫學の方面で云へば娼妓を一つ所に集めて置いて監督するといふ方法が從來あつた、歐洲ではレグレメンテーブ（Reglementeve）といふものがあつて日本の遊廓とは違ふが之に似た方法を以て賣淫をすることを認めて、それに衞生的の監視を加へるといふのである、所が近頃になつてそれに反對する人が出て來た、醫者の方で喧しいのが伯林大學のブラシコー、佛蘭西のブロッホなどが盛に取締廢止說を唱へてゐる。其說く處は中々激烈である、彼等は統計を第一基として歐州各國の實際を調査して、衞生的監視は之をやつてもやらぬでも花柳病は同じである、即ち檢黴する事が殆んど無效であるといふのである。今英國の統計を見ると、檢黴法を廢めた其後千八百八十四年迄は千人に就て二百七十二人の患者であつたのが千九百四年には千人に就て百八人に減少した。止めたら約半分に減つたといふ事である。それからかの名高い梅毒、淋病の黴菌を發見した伯林グレスロー大學のナイセル（Neisser）といふ人は其中庸をとつて、彼は檢黴の方法、娼妓の制度がよくないから、つまり變へろといふのである。併し今日は一般に醫學上から廢娼を唱へられて居る、進んで絶娼が唱導さるゝに至つた。伯林のやつてゐる制度などは實によろしくない。目拔の市街の眞中に之が置いてあつて、白晝でも公々然として害惡を流してゐる。日本の吉原に至つては言語同斷と云はなければならぬ。（記者曰、博士の懷抱せらるる絶娼論は本年一月號に掲げてあるから就て御覽を乞ふ。文責記者にあり）

文明とは何ぞや

早稲田大學教授
廓清會理事　内ケ崎作三郎

今回の歐洲大戰亂に就ては、種々の議論はあるが、其根本に於て歐羅巴文明は物質的勢力が餘りに強くなり、精神的文明が壓迫せられた結果であると觀る事が出來る。何を以て斯くいふかと云へば、今次の戰爭の火元は獨逸であり、軍國主義又は物質的傾向といふものは獨逸に最も發達してゐるには相違あるまいが、他の國にもさういふ傾向は等しくあつて要するに五十歩百歩の問題に過ぎぬ。所詮十九世紀文明が十八世紀の文明に反抗して科學の黄金時代を作り、精神的文明が次第に閑却せられ勢力を失墜して居つたからである。故に戰爭は或は之れを豫防し得たかも知れないが、文明の大なる潮流としては大なる腫物が破裂しなければならなかつたと同樣である。身體に病患があれば治療を要する、腫物であれば外科的手術によつて健康を回復する道がある。歐羅巴の大戰亂も蓋しそれで、此の物質的非理想的傾向の弊害に對して、大理想家、大宗教家、大教育家があつて今日を機會に歐羅巴の腐敗したる社會に血清療法を試みやうとしてゐる人々がある。

私共は此等の人々の計劃抱負に對して尊敬を表しなくてはならぬ。

其一例として著しき現象は露國に於ける禁酒法令の發布である。或はウオツカといふ酒を專賣にするといふ樣な形を以て現はれてゐる。元來露人は非常に酒を嗜む、ウオツカといふのは無色透明な日本の燒酎に似て更に強烈である。彼の日露戰爭の失敗は餘りウオツカを飲み過ぎたからだといふ評判さへある。されば露國の政治家や有識者は如何にしても此ウオツカの害を防ぎたいと考へて居つたのであるから、時至れりと大戰爭を機會に禁酒を實行せしめ、或はウオツカを政府の專賣として非常に價額を引上げて容易に飲む事を得ざらしむるに至つた。而して之れが效果は第一に砲兵工廠の兵器製造の上に現はれて二割の増加を來した。卽ち同一人數の職工が同一時間働いて製作品の成績の上に二割の増加を示してゐるのである。又以て露國人が如何に覺醒しつゝあるかを知るに足るであらう

英吉利に於ても或部分の腐敗は殘つてゐるかも知れぬ俄仕立の軍隊の屯してゐる處は大に亂れてゐるかも知れぬが國民全體は頗る此度の戰爭の爲に眞面目になり、何とかして此機會を利用して奢侈の風俗を一掃し、堅實なる國民性を與へやうとしてゐる。其他佛蘭西も獨逸も伊太利も皆同樣ですべての交戰國民は反省の機會を與へられて眞面目になりつゝあるといふ事は、刮目すべき重要なる事實である。

□　□　□　□

戰爭は力と力との爭である、恰も相撲の如きものである彼の大錦が非常な成績で一躍大關に驀進した如きは、彼が比較的又は絶對的に貞操を守つた點にあるのではないかと思はれる。して見ると卽ち戰爭に勝つには道德的の勇氣を奮ひ起さねばならぬといふ事になる。故に此度の戰爭は何百億若くは何千億といふ軍費を投じ、何千萬人の貴重なる人命を損ふ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

かも知れぬ想像するだに恐ろしい犧牲であるが、爲めに歐羅巴の道德といふものは必ずや偉大なる進歩を見るであらうと思ふ。之れは新聞雜誌の外我々の友人からの私信の中にもほの見ゆる抱負である。

然るに翻つて日本の現狀は如何、日露戰爭以來、殊に昨年の日獨戰以來の日本は著しく不眞面目になつて來たやうに思はれる。數日前或書店に就て、近來如何なる書物がよく讀れるか、多くの人の欲する讀物は如何なるものであるかを聞いて見ると、心中物か情話集の類が一番賣れるといふ事であつた。斯うした卑しい文學が賣れるやうになつたのは確に今日の日本人が戰爭前に比べて不眞面目に流れつゝありはせぬかと心配せしめらるゝ一點である。斯かる不健全なる風潮が我國に瀰蔓してゐるならば正に警戒を要するではないか。

此頃學者の統計に見ると、日本人の平均壽命は二十六七歳といふ事である。昔は人生五十功なきを愧づと云ひ、人生七十古來稀なりと稱してゐたが、今日は五十迄生きる人は平均壽命の殆んど二倍だけ長生してゐる譯で、隨分心細い話である。日本人一人が平均二十六七年しか生きられないとは情ないではないか。これには多くの原因があらう。併し中に就きて有力なる原因の一つは肺結核もあらう胃腸病もあらう、けれども此日本人の死亡率の證明する所に據れば、主たる原因は花柳病である。此病氣は我國に於ては實際非常に瀰蔓してゐる、此の爲めに婦人に感染して子供が生れぬとか、生れた子供がすぐ死ぬとか、生れても弱い、痴愚低能である、精神病である、肉體も不健全であるといふ樣な種々な害惡が附隨する。男女問題は今日の日本にとりて最も重大なる問題である。

□　□　□　□

何故に男女問題が國民の最大問題であるかといふと、先づ人間の有する性慾といふものは、恣にする爲め授けられてゐるのではない。之れは人間の最も尊いもので、人體の營養たる血液中の血液である、此の大切なる血液を濫用するのは取りも直さず自殺の行爲で命の安賣りに外ならぬ。

抑『文明とは何ぞや』此の説明は日本人には分つてゐない私は『文明とは生殖細胞の變形也』と答へんとするものである。之れは科學的及道德的に非常に深長なる意味を含んだ定義である。生殖細胞は保存すれば内分泌によつて身體に逆輸入をする。それが頭腦に這入れば頭腦を明晰にし、身體に這入れば鐵の如き筋力となり、或は判斷の力となり宗敎に憧るる念慮となり。藝術を愛する情緒となり、哲學を好む心となり、美はしき同情となり、科學文學人生一切の活動は此の内分泌に重きを置くのである。

野蠻人と文明人と何處が違ふかと云へば、子供にありては十二三歳迄そんなに差異はない、野蠻人の子と文明人の子と十二三歳迄同じ敎育の下に育てると餘り變りはないが、それを野蠻人の生れ故郷文明人の生れ故郷とそれぞ〵故郷に歸して十年の後再び合はせ見たならば、雲泥の差を生じてゐるのに一驚を喫するであらう。野蠻國には科學はない、哲學はない、宗敎も藝術も極めて幼稚である、文明の活動がない、從つて是等に養はれる處がないから、勢ひ彼等の行く處は酒と女である。そこで彼等の容貌は筋肉が弛んで馬鹿顔になる、それと同じく道樂をしてゐる人は内分泌をしないからキチン〵とした顔がない。能く道樂者の事を鼻の下が長いといふが、あれは實際道樂をすると筋肉がだれて長くなるのである。之に反して文明

國に於ける少年若くは青年は、常に數多き誘惑に遭遇するかも知れぬが、敎育機關も完備し、文學に藝術にあらゆる耳目を樂しましむる物があつて、直接間接それ等によつて性欲の濫發を矯め、內分泌によつて感情を純潔にし、理性を聰明にし、意志を鞏固にし、筋肉も強健となり、容貌も引締まつて野蠻人や道樂者と著しい差違を外見に顯現するやうになる

□　□　□　□

今日人間の美を批評する標準に『敎育美』といふものがある。兄弟でも學問した人の方が何處となく品がいゝ、女でも藝妓など美人だと云つたつて敎育美がないから間が拔けた美人である。頭を使はない、彼等の手管は型で、我々が一時間も調べればすぐ分つてしまう型を皆やつてゐるにしか過ぎぬ。道樂をすると變性女子になり、藝妓や娼妓に女らしい女が少く、變性女子の多いのは憂ふ可き事だと嘗て富士川博士が廓淸會の演壇で述べられたが、男子も亦然りで、道樂をする人は內分泌がない爲め良心の刺激が鈍り、人の金を持逃げしたり、物を盜んだり、嘘をつくなどは平氣でやる。頭がいゝいゝがらんどうで道念といふ物が働かぬ。さういふ青年に限つて學生なら中學三年生頃から眼に光なく、口元締らず、入學試驗に落第する事鏡にかけて見るが如しで、暗記物は出來ず、自殺をするやら懲役に行くやら不埒な事になる。道樂が道德的に善いか惡いかは倫理學の問題でなく立派に生理學の問題で。宗敎家、道德家でなく生理學者、醫學者の問題である。

醫者の中には若い內は少々やつてもいゝといふ樣な事をいふものがあるが、併醫者にもいゝのもあれば惡いのもある。文學者にもヘボ文士もあれば文豪もある宗敎家にも僞牧師もあれば生臭坊主もあるやうに、醫者の中にも人類の幸福を圖る醫者と、ポケットの輕重ばかり考へてる醫者とあつて、病人の多からん事を望む醫者も少くはあるまい、そこで彼等青年は少々道樂してもいゝなどゝいひ、青年は差支ないと思つて道樂をする、其結果肉體と精神ないためて之れによつて醫者は間接に利益の均霑がある譯なのである。醫學生などでどうかすると制慾は却つて身體に害がある などゝ愚劣な事を云ふ熱心家がある。また醫者の不養生と云つて衞生を知つて自ら衞生を守らぬ醫者は正當防衞として、卒業をしたら少しはいゝが學生の身分で怪しからぬなどいふ先輩がある。青年がこれ等に迷はされてはならぬ。

□　□　□　□

今日日本人は宗敎家でも、政治家でも、文學者でも、軍人でも、或は商工業に從事してゐる人でも、斯ういふ明白な定義を知つてゐる者があらうか、實に痛歎すべき事である。文明とは何ぞや、曰く生殖細胞の變形なり、此の火を見るより明かなる定義を知らぬ。世間では誰某は道樂をする併しあんなに偉かつたではないかといふ者がある。

併し明治維新の先輩は少くとも此點に於ては少しも手本にならぬ。明治大正の先輩は何も彼も好模範を示してゐるのではない。所詮人間は神ではない、不完全といふ事を免れぬ。彼等には此方面の大なる缺點があつたのだ、彼等は其時代の國家の爲め文明の爲め非常なる貢獻をしてゐるにも不拘、此の大切なる點を缺いで居つた。之れ彼等に取つては悲しむ可きであるが、我等に取つては却つて生甲斐がある。若し過去の人がすべて手本であるならば我々は何の生甲斐があるか。

苟も今後の青年は空前の機會に於て、交戰國民の自覺に遲るゝ事なく、新しき決心を以て內分泌を盛んにし、大正維新の改革者たらん事を望むものである。

婦人を玩ぶ國民は衰亡す

貿易商　堀越善重郎

△日本は未だ支那か土耳古

日本人は元來多妻主義であるが、是は人倫の道に外れて居ることは明白な事實であるから、今日では心ある者は公然多妻主義を唱へる人はないが、其でも日本の主なる人で、社會の牛耳でも取ると云ふべき人々殊に實業家は多くの妻を持つとか、別に所謂内緣の妻と號して、妾を蓄ふると云ふ人がまだ〳〵多く、妾を置かねば紳士ではないかの様に思考する人があるから、私は其を患へて、此處に一言申上げたいと思ふのである。

國家は個人の集合體であることは誰も異議のない所である故に國家を組織して居る所の各個人が、各々健全であるならば國家も亦從つて健全であるが、其個人が之に反し、不健全であるならば、國家も亦健全でなくなるのである。故に我々商工業に從事して居る者は、何れも健全なる思想を有つて働きたい。商工業を大に發達させるには、別に方法はない。各商工業者が健全になつて活動するより外はない。然るに今日の商工業者は主として東洋流の思想で、恰も朝鮮人、土耳古人、チュニス人、アルゼリー人の様な行をなして、恬として恥ちないで居る。日本は世界の一等國になつたと、一方では威張つて居ても、内情は土耳古人、アルゼリー人と同じでは實に歎はしい次第である。

△妾を蓄へる國は衰亡する

熟々考へて見るに、國民が妾を持つて恥とせざる所、或は公然蓄妾又は賣笑婦を許して置くと云ふ様な國は悉く段々滅亡するのである。朝鮮の如きを見よ。彼の有名な朴泳孝は、亡命客であつて、日本に逃れて來て居る間は甚だ難儀をして居たが、日清戰爭の後朝鮮が日本の保護の下に獨立を維持した處、此時は朴泳孝は内務大臣となつて、一時は大なる勢力を有する様になつたが、日本に居つた時の難儀をば忘れて終つて、妾を四十五人も蓄へて置いたと云ふ事である。之を若も事實とすれば實に驚く可き事である。支那でも財産を妾の數で計算すると云ふ風が行はれて居る。即ち五人よりは七人七人よりは十人を誇りとして居る。金のあるに從つて妾の數が殖えて來るのであるが、此の習慣は日本でも笑ふ事は出來ない。日本でも富豪と云はるゝ人は多くの妾を置くのであるモロッコの如きは矢張り支那朝鮮と同じで金が出來ると妾を

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

持つ事になつて居る。私が先年土耳古に往つた時バレンの宮殿を見たが、是は國王が妾を置く處であると聞いた。其時妾の數が四百五十人あるとか言つた。土耳古ではかくて國王を始め大臣富豪までが多くの妾を蓄へねば威嚴がないかの樣に思つて居るのは實に笑ふ可き野蠻の習慣である。甚しきに至つては國民が國王に美人を妾として進獻し其に由つて或利權を得ると云ふ事さへある。日本なら所謂御用商人なる者は大抵こんな手段を弄して自己の利を謀ると云ふ事である。かゝる惡習慣を存して居る國であるから、先年はバルガン半島の諸國から破られて、國土の大半を失ひ今は又獨逸に贊成して露國と英佛聯合軍とを敵として戰ふと云ふ事になつて居るが、獨逸がうまく勝てばよいが、獨逸が若も聯合軍の爲に破られる樣になつたなら、土耳古は或は滅亡して終ふかも知れぬ。米國、佛國、英國などの樣に健全なる思想の國民は決して婦人を玩弄物視せぬ。却つて婦人を敬愛して居る。斯かる國は必ず年々盛んになつて來るのである。支那や土耳古の如く妾を蓄へて之を誇りとする、婦人を馬か牛の樣に心得て居る國は段々衰亡する。我國は文明國であると人も許し自らも考へて居るに係はらず、妾を蓄ふる事を法律で許すと云ふ事は歎かはしい事である。

虹涼し森の雫の夕つく日

△歴史上の實例

之を歴史に徴して見ても、支那の秦の始皇帝は、支那を一統し、萬里の長城を修築し、己の子孫をして萬世に帝王たらしめんとしたが、彼が帝王となつた目的は奈邊にあると尋ねて見るに、彼は實に多くの妾を宮中に集めて之を娛みとするにあつたのである。彼の阿房宮も此の妾を置くが爲に造つたのである。斯かる風であつたから、僅かに三世で滅亡して終つた。羅馬は如何。一旦は實に當時の世界を一統して終つた程であつたが、始めの勇武は何時しか失せて、社會は滔々として猥褻なる行爲を敢てし、婦人を玩んで恥とせざるに至つたので、遂に衰亡したのである。此外歴史上の例を擧ぐれば數限もなくある。總て婦人を奴隷的に使役する國家は衰亡するのである。故に人は唯官位が高くなつても、爵祿が多くなつても決して偉いとは言はれない。商工業が盛んになつて富を多く得た所で、決して安心は出來ない。富を得た時婦人を玩弄して娛むと云ふが如き陋劣な風俗習慣を止めなければ、必ず個人でも衰亡に趣き、斯かる人士が多くなれば國家も從つて衰へ、遂

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

には滅亡に至るのであることは爭はれぬ眞理である。故に國家の隆盛を欲するならば、先個人々々が高尚健全なる思想を養ひ、人間は婦人でも皆同等な者として、之を尊敬する樣な習慣を造り、婦人も亦自らの天性を發揮して、徒らに男子の玩弄物となりて甘んずる樣な卑劣な事をなくせねばならぬ。英米なぞの今日世界に雄飛する所以の者は實に此點にあつて存するのであると思ふ。我國民たるものは單に世界の一等國になつたからとて、妄りに誇る譯にはいかぬ。日本にはまだまだ種々なる惡習が殘つて居る。其の中でも妾を蓄へて誇りとするが如きは最も惡むべき習慣である。殊に婦人の賣淫を公許して、男子が婦人を牛馬の如くにする惡習慣は速かに廢止せねば、國家の隆盛は望まれない事であると思ふ。

△日本の成功者は如何

然るに今日日本の狀態はどうであらうか。多くの紳士紳商など云はれる人が、彼の人は成功したと世の人に羨望せらるる者はどうであらうか。諸君の御承知の如くに何れも妾宅を構へて、其中に妾を蓄へて置かぬ者は殆んど無いが如き有樣であるのは實に歎かはしい事ではないか。甚しきに至つては東京の藝者買はもう厭きたから、今度は名古屋あたりの藝者を買つて見ようと云つて、大金を出して、名古屋の藝者を連れて來るとか、女は京都がよいから京都から連れて來ようと云ふ者もある。全然彼等が婦人を見ることは恰も馬を買ふか牛でも買ふかの如くに心得て居る。そして社會一般の人士が此の所謂成功者に對して如何なる感を抱いて居るかと云ふに決して之を非難しない。苦々しい行であるとは決して思はず却つて彼れの行は奇拔である、彼は實に豪奢である、自分もどうかあんな事を行つて見たいと考へる。其のみならず婦人の方でも斯く玩弄物にせられるのを、決して厭な事と思はず却つて女は氏なくして玉の輿に乘られる者であると云つて、自分も誇り、他も之を羨んで居ると云ふことは、如何に墮落した社會であるか、誠に歎かはしい事である。

△此の惡習慣惡制度を打破せよ

そして國家は婦人を玩弄物として牛馬の如くにする公娼制度を許して、政府の許可の上に之を公々然行はしむるに至つては、何たる非理非道の事であらうか。吾人は所謂商工業者自らが自分の人格を考へ、斯かる非理非道を行はぬ樣に努めたいが、其と同時に爲政の任に當るものは斯かる陋劣なる制度を速かに廢止して貰ひたい。諸君は大政に參與するの權利を有して居られる。そして國家經濟の上にも大に貢獻すべき責務を有して居る。願くば志望を堅固にし、斯かる惡習慣惡制度を打破し、國家の爲に商工業の發達を謀り、彼の支那や土耳古の轍を履まぬ樣に努めて貰ひたい。

●鐵道旅行案内　本書は鐵道旅行者探勝遊覽者の爲め鐵道院に於て編纂せられたので、官私の交通機關沿線の名勝舊蹟を詳細に紹介し官公衙會社工場物產等一切の重要なる事項を網羅し、多數の精巧なる寫眞と地圖とを收めてある、旅行案内書としては先づ之れより以上のものあるまい、旅行者必携の好著である（日本橋博文館發賣）

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

社會の四大病

立敎大學長 哲學博士 神學博士 元田作之進

□三重に害毒を流す病

社會の病と數へる者は數多くあるが、其中で最も多くの害毒を流すものが四つある。尤も人に由つては種々違つた物を數へようが、私の考では四つある。由つて演題は『社會の四大病』として置いたのである。先第一は酒の中毒である。是は其害毒の及ぶ所非常に廣く、單に身體上のみならず、德性上にも將又財政上にも害を及ぼして居るのである。それから次は日本に於ける癩病である。是は天刑病と云はれて一旦之に罹ると治癒する事は先無いと言はれ、其果は手足から身體までが見るも醜き姿となり、遂に斃れて終ふので、中々恐るべき病である。歐洲などでは此病の豫防に對する設備が整つて居るから、此病を殆んど根絶せしめたが、日本ではまだ社會の到る所に癩病患者が多いのである。偖其次卽ち第三の病は肺結核病である。此も社會病で、年々之が爲に斃れる者は日本全國で幾萬人と云ふ程あつて、國民に大損害を與へて居る。其次以上の三者に劣らぬ害毒を國民の上に與ふる者は花柳病である。此の四つの者は何れも罹病者其者のみ害を受けるに非ずして全く三重に害毒を流して居るのである

病の中にはペスト赤痢など隨分恐るべき病はあるが、是等は以上の四病の如くに三重に害毒を流しては居ない樣である。此の四大病は先づ之に罹つた患者が害されることは何れも同じである。酒飮みにしても酒を多く飮むが爲に其人の身體に害を受けて遂に死ぬる樣になることは明かな事實であるが、此四大病は患者ばかりが害せらるゝのみならず、家族までに害を及ぼして居る。卽ち其子とか孫とか、又は妻などに害を與へて居る。酒飮みの子供に精神病者、瘋癲者などが出來、癩病、肺病、花柳病は妻又は子孫までも傳染する。そして國家社會の爲には虛弱なる國民を作る事になつて、大害を流して居る。卽ち此の四つは三重に害毒を流して居る。癩病患者は日本には十萬人もあると云ふ事である。世界中日本ほど此の病の患者の多い所は外にはない。卽ち日本は世界第一等である。肺病は日本全國で五分間に一人同病の爲に死ぬる者がある。卽ち一時間に十二人、一日に百四十四人、每日死んで居るのであると云はれる。斯かる恐るべき病は是非とも之を撲滅せねばならぬ。私は醫者でないから委しくは分らぬが小學校敎員に肺病患者があつて、或縣では千人に付て九人或縣では千人に付て五十五人の割合である。其が小學生徒に

傳染して又肺病患者となる、實に恐ろしい事である。故に何とかせねばならぬ。肺病患者に關する道德問題は別とし、て衛生の方から考へると、どうしても此儘放任して置かれぬ

□花柳病撲滅策として公娼廢止

酒と花柳病とは單に病毒其物を驅除せねばならぬのみならず、衛生の方面よりも、道德の方面よりも考察せねばならぬ私は醫者でなく、道德宗教が私の專門であるから、道德上からは之を論ずる資格はある。先此二の病が起る原因、殊に花柳病の起る原因は何であるか。娼婦である。娼婦には公娼あり私娼もあるが、今問題になつて居るのは公娼である。米國では奴隷を廢止した爲に農作家は非常に困つたが。道德上人間を奴隷として使役する事の非違なることを悟つて、已むを得ず法律で禁止せねばならぬ事になり、遂に南北戰爭までもやつて、とう／＼廢止して終つた。其結果南部諸州は一時困つたが、政府で許すべき者でないと思つて遂に禁止したので今日では何の差支もなくなつた。公娼廢止に就いても之を今廢止したならば、或は一時困ることがあるかも知れぬが道德上婦人をして賣淫をなさしむると云ふ事は非違不道なることであり、且つ之が爲に花柳病の蔓延を來すのである故に是非とも之は廢止せねばならぬ。假りに一歩も二歩も讓つて假ひ花柳病が殖えても構はないとしても、教育上から見て、公娼なる者は廢止せねばならぬと思ふ。私は多くの生徒を扱つて居るが、之に對して公娼を買つても、可いと云ふ所があつては何とも教ゆるに困る。公娼なる者は政府が公然許して置く所の者であるから、之を買つて惡いとは云はれぬ。若惡いとせば何故許して置くかと云はれた時に何とも言ひ樣が無くなる。故に教育は國家の上に立つて、國家では善いと許してあるが、あれは間違ひだ。吾等は決して買つてはならぬと云はねばならぬが、そうすると國家の價値が下るので、半ば教育の效果を沒却することになる。米國では一時農民の苦痛を忍んでも奴隷を廢止したが、其が二十年三十年たつと、南の方も發達して來て今では何等の苦痛を感じなくなつた。公娼を今急に廢止したならば、一時は私娼が出來て或は却つて花柳病の蔓延を來さぬとも限らぬが、永遠の政策としても道德上から見ても、又國家の體面上から見ても、公然税を納めて淫を賣ると云ふが如き制度は之を廢止すべきであると思ふ。況んや、公娼を廢止したりとて、必ず私娼が殖えると極つて居るのでもなく、却つて公娼のある所に私娼のあるのを見れば、公娼を廢止すると共に私娼も自然絶滅するかも知れぬ。國家は有機的生物である以上は國家が肺病となつても困り、癩病患者となつても困る。まして國家が花柳病を養ふ本源たる公娼を許して置いて、國家自身が花柳病患者となつては尚更大問題である。何とかして此四大病、殊に花柳病の撲滅を謀る樣にしたいものである。

會告　お斷り

従來、十五日發行なりし本誌を一日發行とし、八月號を休刊する事にせり、而して十月號を倍號とし御大典に就ての矯風號を出す豫定なり、會員諸君並に讀者各位の御諒承を乞ふ。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

家庭の平和と同情の觀念

高島平三郎

□愛は理解の別名なり

總べての惡人は不健全なる家庭から出る者が多い、家庭敎育の基礎となるものは家庭の和合である、子供を良く敎へるよりも先づ一家が和合しなければならぬ和田垣博士の兎糞錄の中に『或る立派な家庭の子供が二人で飯事をして遊んでゐて、了ひに父になつた男の子が母になつた女の子を頻りに打擲るので、なぜ打つのかと訊ねたら、お母さんはお父さんに毆られるものだと答へた』と書いてあるが是等は恐らくは家庭で始終這麼圖を見せられてゐるに違ひない。家庭の不和は子供に多大な惡感化を與へる。

家庭を平和にするにはどうしたらよからうかと云ふ事であるが、世間には金さへあれば一家圓滿だなど丶云ふ人がある併し是れは大きな間違ひである、隨分相當な金持ちの家にも不和合なのがある。平和は人の心から來なければ駄目である而も其の內で最も大切なのは同情の念卽ち思ひやりといふ事である。妻は夫を思ひやり、夫は妻を思ひやり、子は親を思ひやり、親は子を思ひやる、と云ふ風に家庭の中に思ひやりが交換されゝばそこに眞の家庭の平和を見る事が出來るので何でも自分が〳〵と自我主義ではいかぬ人を理解するといふ事が肝心である、そこに眞の愛を見る事が出來るのである、印度の哲學者タゴール曰く『愛とは全理解の別名なり』と。眞の愛は互に人を理解するのでなくてはならぬ、同じく貧乏であつても愛の籠つた家庭は愉快に暮してゆかれる。

□生理的同情

此の家庭敎育の基礎となる所の同情卽ち思ひやりには三種の區別がある。第一は生理的同情で向ふが泣けば自分も共に泣く、卽ち互の間に同じ思ひやりが通ずるのであるが、赤子が生れて四十日か六十日經つてそろ〳〵笑ふやうになると著しく子に對する愛情が增して來るといふ風に生理的に顯はれてくる同情心である。互に笑の內にも無限の引き付ける力がある。それは啻に赤子のみならず大人の間にも行はれるので、道で會つてお寒うと挨拶するとお寒うと返事をする、同じ事を繰返すので詰らないことではあるが、其中に無限の意味が含まれて居る同じく子供を抱くにしても子供の好きな人であると必ずよく懷くが、子供の嫌ひな人ではいくら口先ばかり優しい言葉を使つても仲々子供はなつかない、兎角附燒刃は禿げ易いものである。

某政治家は非常に變屈な人であつて、妻君が『熱いですね』と云つても自分は『うむ熱いな』と應ずれば何んでもない事を『お前は熱いのかい』等と意地惡げに云つて其癖せ自分は汗を流してゐるのである。こんな家庭であるから幼稚園へ通つてゐる其子供までがひどくひねくれた性質を持つてゐる、同情と理屈とは相容れるものではない。

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

□心理的同情

第二は心理的同情で、これは眞の同情である。人が寒くて顫えてゐるのを見ると自分も忍び難い苦痛を感ずるといふのである。琴瑟和合する等といふのは此情が必要である、人の心は不思議なもので自分が失敗した時に同情して慰めて吳れたりすると非常に勇氣が出るものである

今から二十年計り前に某若夫婦が理想的な家庭を作つて居たが、或日主人は何か非常に錯雜した事件に惱まされて終日疲れ切て家に歸つてくると、妻君は夫が服を脱ぐか脱がぬかに亭主に向て晩のおかずは何に致しませうと云つたので、唯でさへムシヤクシヤしてゐた所であつたからむら〳〵と癇癪が起つていきなり妻君の横面を一つポカンと失敬した。妻君も非常に怒つて其儘家を出て了まつた、そして最う再び人の妻となるものでないと單獨渡米して苦學し立派な女醫として歸國して開業する事となつたが、今でも時々自分が病家を廻つて種々考へながら歸つてくると下女に今晩のおかずは何に致しませうと、お角違の詰問を發せられる時には思はずむか〳〵とする事があつて始めて昔を思ひ出したと云ふ事である

總べて表面の愛は駄目である、眞の同情は眞に人の心を理解する事である。殊に家庭に於ては婦人の心は男子の心を支配する唯一の武器たる事を忘れてはならぬ。是が出來なければ子供の敎育は勿論出來ない、子供が遠足から歸つて來た時でも嘸ぞ疲れたであらうと云ふのと、歸つた早々衣服を汚した事や遅くなつた事杯を捉へて小言を云ふたりするのとは子供の性質を養ふ上に非常な差がある。

日本アルプスの大雪溪

同情の中にも苦しい時の思ひやりはしやすいが、人が愉快である場合に人と其樂しみを共にする事は至難な事である。先づ親子を除いて他にあるまい、夫婦の中ですら此の情は出ない、若し夫が餘り出世でもする場合には先づ妻君の胸には自分のやうな者は棄てられまいか、といふ嫉妬の念が湧いてくる。勞働社會の同盟罷工等は即ち此心理狀態から發する、金持は兎角貧民に對して心理的の同情に乏しい如何に贅澤しやうと散財しやうと己れの金を俺が使ふに何が悪いなど云つて藝者を連れて自働車で乗り廻したりしてこれ見よがしにやるから遂には其反動として一種の社會主義等いふものが出るやうになるのである。人が出世をした場合等に大概の人は其の前身を探つて悪口を云つたり妬んだりするのが普通俗人の常である若し斯る場合に眞の同情を以て其出世をした人の心を見るやうな者があれば其れは神の心である、又母の心理狀態は姙娠中であれば遺傳的に其の子に影響し、生後なれば感化的に影響する子供の性情のひねくれるのは何か其家庭に秘密が伏在してゐるからである。

□道德的同情

第三は道德的同情である。これは仁恕の意味に當る情であつて、人の不幸を見て氣の毒だと思ふと共に、どうにかしてそれを取除いてやりたいといふ所謂拔苦與樂の觀念が起る情である。同情とい

ふ輩は何んでもないやうに世人から輕視されてゐるが、人を殺すも生かすも一に此同情に在る事を忘れてはならぬ。曾て世人の膽心を寒からしめた第一世の針金強盗坂本啓次郎が、或る冬の寒い日に獄中でぶる／＼顫えてゐた時に、當時市ケ谷監獄の典獄であつた藤原正啓氏が心から同情してあゝ寒からうと云つて看守人に命じて『日向に出してやれ』と云つて去つた。此の一言に感激して彼の極惡非道の惡漢は翻然と良心に立ちかへつた。是れ實に同情の力である。其の後彼が死刑臺上に登つた時の告白によれば彼は幾度か放免になつて其都度故郷の家に歸るけれども父や母は彼の悔悟の心を汲んでくれず彼れに對して曾つてやさしい言葉をかけて呉れた事はなかつた。生れて二十有餘年誰一人として彼に同情の涙をそそいで呉れたものはなかつた。其爲めに彼は益々人を怨み、世を呪ひ、惡より惡に入つたのであるが今の此典獄の一言は彼の心に無限のインスピレーションを感じたのである。今や斷首臺に上らんとするに際して悔悟の涙潸然として、今度生れてくる時は屹度立派な者になつて來ますと云つて潔く死に就いたといふことである。人の性は善なり、若社會が彼等を惡化するのである、同情の力の大なるは即ち此れである。

世に高き學問を學んだ女が愛嬌に乏しいとか、家庭が圓滿に收まらぬのは要するに彼等は學問のみに凝つた結果、人に接する事が少ないから世間を知らない同情と云ふ觀念が起らないのである。今の學校なるものが努めて社會の事を知らすまい、社會から遠ざけやう／＼としてゐる事は、悲しむべき現象と云はなければならぬ。（講演筆記）

二十世紀の婦人

三輪田高等女學校長　三輪田眞佐子

日本の國の發展に伴ふて日と共に女の將來は責任の重いものとなります。外國との交通交際愈々繁くなり、日本の領土は増加はり、人口の増殖して行くと共に社會は一層複雜になつて參ります、社會が複雜になると共に婦人の任務も亦複雜になつて行くのであります。かう思ふ毎に私は孔子の言はれた齊一變せば魯に至らん、魯一變せば道に至らんの意を何日も考へます、齊とは御承知の如く大公望の世で御座います、魯の周公の世、世は進んで大公望の周公の世に、周公の世に至つて眞の道に到達する事が出來ると言ふので、私共も又樣々な代を經て大正の御代になつて婦人の典型の愈美化せられる事を望むので御座います。

□　□　□　□

さて從來の婦人の身と現在の其れとを比較して考へて見ますと、只今申す通り婦人の身に間違の起る事柄は一日一日と多くなつて參ります。今迄の婦人は唯一家の事を切り盛つて、子女を養育さへすれば事足りた一家の母であつたのです。けれど將來は一家の母では足りません、皆日本の母とならなければならないのです。そして夫に對しては又賢明な注意深い妻となるのみでなく最も適當な援助者となるな

げればなりません、私の亡夫が嘗て「俺は日本の父となる、其方は日本の母となる心懸けをしろ」と申されたので御座います。乃で私は其時からの志を女學校事業に現し度いと望んだので御座いますが、中中其の當時思ふた樣には參りません。

先づ卑近な事實を取つて見ましても薪は瓦斯に變る、燈火は電氣に變る、水も水道となつてさてそれらに對する研究も要れば注意も多くなる、今迄安閑としてゐた身は急に忙しくなつて來ました。夫のみならず一國內で事が濟んでゐた事が國と國との交渉になり、一つ間違へば戰爭の恐ろしさを見なければなりません。さうなれば夫れで又女として顧る事が多くなる譯です。そして此の多端になつて行く世に處して表立て働く男子が、官吏にしろ會社員にしろ敎育家にしろ何にしても重い責任を負はなければならない人です、隨分難かしい事に當つて苦慮する事の多い夫を慰藉するといふ方法も、亦尋常一樣に考へた位では足りないので御座います。

□　□　□　□

片手には家の爲め夫の爲め子の爲めと其れも難かしくなつて行く時代に適應した考を廻らさなければならない、外には國に對して女も亦直接に責任を感ずる者となりました。家政の事尋常茶飯事の中にも國益を計るとか、經濟の方法を講ずるとか國力を增進する樣に考へるとか、皆婦人の肩に掛つて來たので御座います例へば一寸した園藝の趣味の上にも今迄は庭に花咲く樹木を植ゑて樂しんだものが、果實のなる木を植ゑて國益の一助とし樣とか、之を斯して經濟を計らうとか言ふ樣になりました。

片名の妻といひ、夫の志を擴へして豐公に最後の一人となる迄忠義をさせた木村重成の妻、乃至は板額など昔の時代にも婦人の典型となる可き人はありながら誠に寥々曉の星の如きものでした。最近に於ては乃木御夫妻の如き至誠の人がありますけれど之亦數へる程もないのであります、日本には古來道德の最も美しいものがありました。其道德は文化の光と共に彌々光る可き筈のものです。唯似而非文明に傾いて夫れが醜いものとなる事を防がなければなりませぬ。進んで行く學力と鍊磨する道德と日新の氣と合して其所に立派な道德は生れなければならないのです。そして少數の德高い人でなく、其の立派な道德を以て國民の精神の統一を計つたならば如何程優れた美しい國となりませう。私の理想として望む所は唯だ優しいとか溫柔だとか名を命ける底の婦人でなく、思慮あり確固とした道德あり犯すべからざる威嚴のある優雅に美しい婦人で御座います。之を要するに敎育です。斯ういふ風に婦人が作り上げられた時に、十九世紀の婦人の典型よりも二十世紀の大正の御代に現はれる婦人の好典型は期して待たるゝので御座います。

□　□　□　□

惟ふに現今は一般に世の中が文明病に罹つて居ります。文弱の弊に流れて居ります。そして虛榮虛飾の氣が漲つて居る樣に思はれます。所謂新しい女の唱へると云ふ道德は破壞的の樣に思はれますがどうか確りした眞の道德が世を支配して、孔子の言の如く道に到るといふ處に達したいものです。

列國の富力

高橋秀臣氏調査

國別	總國富（萬円）	一人富（円）	一人一ケ月平均所得（円）
米國	二、八〇四、二三四三	三、〇四九	二五、四一
英國	一、六四二、五四九一	三、五六八	二九、七三
獨逸	一、四五三、六九二一	二、二三九	一九、四四
佛國	一、二九七、〇四九〇	三、二五〇	二七、〇九
支那	一、〇六一、三三二五	二六七	二、二五
露國	一、〇〇〇、二六一六	七五九	六、三六
伊國	四三〇、八四八〇	一、三二四	一一、〇四
日本	三七五、二三四七	七二五	五、九七

旅行と禮儀

廓清會理事　文學士　小松武治

誰やらの言葉に西洋人が日本に來て皆な云ふ事がある。日本人は中々愛想のよい國民であるが汽車に乗つた時ばかりは憎くらしく感ずると。實際左様である、先きに乗つて居る者は自分の汽車だと云ふ様な顔付をして、老人や婦人がやつて來ても知らぬ顔をして居るのみならず、丁寧にボーイが來て少々席を明けて頂き度いと云ふても、一向頓着せぬのみか、時に不機嫌な態度や言葉遣ひをすると云ふ様な、如何にも醜き有様を演ずるのである。電車等にでも同様の事を見受けるのは如何にも怪しからぬ沙汰である。又旅館に着いても我等少からず不快の念に堪えないのは、宿屋の主人が如何にも輕薄なる態度で以て障子を明けて米搗虫の様に首許りピヨコ〳〵下げて挨拶すると云ふ有様、必ず影では舌をペロリと出して居る事と思ふと呆れる外無いのである然るに西洋に往つて見ると、其處は大いに異つて居る。日本では旅の耻は搔き捨てと云ふやうに、世間の人は皆な他人、甚しきは人と見たらば盗賊と思へと云ふ諺さへあるに反して、西洋では初對面の人でも外國の人でも、悉く知つて居る人として接する故に、汽車電車の中では老人婦人に席を讓る事は勿論の事、車中馴れ〳〵しく相語り、相互に無聊を慰める事が出來ると云ふ有様で、如何にも外見目にも美しい位である。宿屋でも他人の迷惑を顧みず、放歌暴飲夜を徹すると云ふ不作法を演じない、食堂や談話室の中では何れも十年の舊知のやうな交りをなして居る。　隨て自分は危險なる誘惑にかゝる事なくして而も愉快である。

旅の上の禮儀に限らず、今日の世の中は禮儀は大分亂れて來て、知つて居る者の間には隨分堅苦しい禮儀が行はれども、丸で知らぬ中に入りては、如何なる事でも敢てすると云ふ有様である。之れ畢竟他人をば知らぬ人赤の他人として交際するからである。然るに米國邊りでは元來知らぬ人も知つて居る人となし、又一寸名前を忘れた時でも必ず間が拔けたやうな事をしない。ブライアン氏の如き先年日本に來た際、面會した人々と米國で再會したが、本人から逢つた事があると云へば、僕は君を記憶して居ると云ふ如何にも外交に達して居る。日本では一介の書生などとは會見した事も姓名迄も記憶して居ても忘れたやうな風をすれば其人がえらいやうな心持をする。大なる誤謬である。其癖商人などは初めて田舎から來た者が、買ひに往いても、毎度有りがたうと云ふ、利の爲め特に目前の利の爲めには、かやう僞りを云ふ、併し眞に友人として知已としてかやうな事を云ふ者はない、出來る丈知らぬ風を裝ふ。

世の中は進歩し交通は開けて世界は一家の如しと云ふ言葉が、眞に其の如くに成らんしてゐる今日は、昔のやうに他人を盗賊乃至赤の他人視する事は到底出來ぬ事である。世の中は廣いやうで狹いものである。人を知ると知らぬとは時の間題である。未知の人と雖も舊知の人として交際する方安全にして且つ過ちなからう。其上同情と云ふ事も其相知れると云ふ處から生じ來る。世の中は相持の世帶である。

大正三年度事業報告

廓清會理事　益富政助

大正三年度の事業の大要を御報告致します。詳細は其時々の雜誌上に於て發表して居りますから就て御覽を乞ふ事にしたいと思ひます。

本年度に於ける本會事業の主なるものは、やはり雜誌と公開演説會であります。雜誌發行の本年度總計は約四萬貳千部でありまして、會員に配付するの外、縣知事、警察部長、警察署長、市長、遊廓、新聞雜誌社等にも毎月寄贈して本會主張の徹底を期して居ります。尚又雜誌の外に『トラクト』約三萬五千部を發行して本年度に於て之れを各方面に配付し輿論の喚起に努めた。

その他に、十月『自由廢業案内號』を五千部發行して一般世人の注意と反省を促し、娼妓の自由の爲めに氣を吐き、無告の奴隷の境遇から脱出の方法を詳細に敎へて一大福音たらしめた。

本年度に於ける演説會の總數は十一回で、辨士の延人員四十八名、聽衆總計四千八百名である。

即ち第一回は七月四日東京銀座教會に第二回は八月十八日軽井澤町にて日本人側へ、第三回は同月二十日同地にて外國人側へ、第四回は十一月七日東京芝教會にて、第五回は十一月十四日麻布青年會と聯合主催にて麻布幼稚園、第六回は十一月二十三日淺草教會にて、第七回は十一月廿八日新宿教會にて、第八回は十二月五日神田青年會館にて、第九回は十二月廿二日大連にて、第十回は本年二月十三日大阪にて、第十一回は同月十四日京都にて催しました。

次に大切なる報告は昨年七月二十二日島田會長、安部副會長、内ケ崎、益富、伊藤の三理事、小崎評議員の六人内務省に出頭、大隈首相兼内相及び下岡内務次官、安河内警保局長、衛生局長代理某氏關内相祕書官等と會見、親しく本會の主張を述べて公娼制度の問題娼妓の自由等に關し極めて有益なる打合せをなす事を得た。

本年度に於て新に支部を設けたのは大連で、滿洲開發の曙光が輝く事になつたのは御同慶に堪へない。

それから京都支部に於ては今秋御大典執行相成るに就て、遊廓移轉の建白を三月中に提出した、そして猶引續き運動中であります。

其他本部に於ては昨年七月三週年大會を大阪支部にては本年二月同じく三週年大會を開いた。

茲に書き漏す事の出來ないのは、本會理事伊藤富士雄、山田彌十郎二君が娼妓救濟の爲め暴行に會して負傷せられた事であります。伊藤富士雄氏は昨年九月二日洲崎遊廓にて遊廓側の暴徒に襲はれて人事不省に陷る程の痛手を受けられた爲め、本會にては伊藤氏の退院を待つて島田會長邸にて同君の慰勞を兼ねて理事會を開き、此問題の善後策に就き熟議を凝らし、島田會長、安部副會長の側面運動となり、理事西村辯護士の表面の活躍となり稍豫期の成功を收めて一般遊廓の心膽を寒からしめた事であつたが、不幸にして本年二月十二日、神奈川縣川崎町に於て、又々伊藤氏及び山田彌十郎氏の負傷を見るに至つた。此時は山室氏專ら救世軍として其衝に立ち縣知事を訪問せらるゝ等の事を經て、事件は落着した兩君に對して御同情に堪へない。

理事會を數回、評議員會を一回開いて運動發展の方法を講じた。

其他、酉の市を利用して吉原遊廓に於て大に廢業の奬めを配つた事や、娼妓其他を救濟した事、及び彼等の一身上に關する多數の相談に應じて、適當なる指導を與へ來つた事などであります。

Digitized by Google　　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

天鼓の響き

藝妓の內容と其害毒（上）

大阪府會議員　金光萬錄

貴會が這度御大典の紀念事業として、藝妓廢止の運動を開始されたるを聞き、吾人は轉た痛快の至りに堪へぬのである。吾人は久しき以前より藝妓の內容を研究し居り、藝妓なるものが一般社會に對して流す所の害毒が、如何に大なるやを憂ひて居つた一人である。

斯く申さば吾人は藝妓通即ち深く藝妓に關係のありたるもの丶如く思へる方もあらんが、そは吾人としては少しも意とはせぬのである。何となれば吾人は從來藝妓なるものに對しては丸切りの沒交渉である、吾人は青年時代より不幸にして未だ藝妓に持ち運ぶやうな餘分の金を持つたことのない人間である、隨て藝妓に關係なく藝妓通になるだけの資格を有せないのである、只吾人が藝妓の內容を知れるは、吾人の友人知己にして藝妓のため身を誤まり家を亡ぼせしもの幾人もありしより、吾人は好奇心に藝妓を研究したに止まるのである。尋ねられぬに自ら辯解するは異なやうなれど事實は全く其通りである。

吾人は元と藝妓なるものは其文字の如く、全く藝を賣つて口に糊して居るものと思ひ居りしに、其內容に立入れば決してそうではない。藝を賣るとは只名のみにして言は丶客を曳く看板に過ぎない、今一つ惡く言へば術策手段に相違ないのであつて、其實淫を鬻ぐのが重なる目的である。一例を擧げて言ふて見れば藝妓の藝は恰も彼の居合拔の曲藝と同じやうのものである、居合拔なるものは天王寺の境內とか、淺草の觀音境內などで、小さい桝の上に一本歯の下駄で立ち、長い刀を拔いて色々の曲藝を遣つて居る、併しながら彼れは此の曲藝で利を得やうとするのではない、彼れの目的は歯の薬を賣るにあるのである。彼れは曲藝を演じつゝ前に群がり居る人間の顔色や唇の色を見て歯性の惡いものと否とを見分け置き、曲藝の後とで歯性の惡いと思ふものを拉へ、歯薬を賣り附くるのが居合拔の秘術である。藝妓も此れと同じ傳で、彼れが三味線を彈き歌を謡ふのは客に接する一の手段にして、其三味線を彈き歌を謡ふ間に金のある人、ない人出歯船と出歯船でない人、との見分けを附け置き、幸に理想の人があれば此れを手に入れ、淫を賣ることに努むるのである。

藝妓は外面から見れば花を賣り、客の物を食ひ且飲み、そうして稀れには祝儀をも貰ふのであるから手許は左程貧しくはあるまい、隨て肉の切賣をなすが如き賤しい事をば、なすはづがないと思ふ人もあるであらうが、此れは皮想の見で、其內部に這入つて見れば決して、そうではない。藝妓と云ふ業其物には既に立派に淫を鬻ぐと云ふ副業が附着して居るのである。吾人は此れより藝妓の內容を摘發し、同時に藝妓なる者が一般社會に向つて、幾何の害毒を流がし居るかを述べて、一般の參考に供したいと思ふ。

藝妓に被抱藝妓と自前藝妓との二種あるのである、被抱藝妓とは第三者に抱へられて居るものにして、取りも直さず一種の人身賣買である。例へば金主は三年五百圓とか五年八百圓とか云ふ風に年期を定めて金を懸け、自分の手許若しくば人に預けて置いて藝妓を働らかせるのである。而して其金は月賦崩濟法を以て年期の中に返濟せしむることになつて居るのであるが、彼等の月々の收入即ち花代なるものは、果して此の月賦金と其利子と將た亦税金其他の諸費用を支へ得るこ

とが出來るや否や。此の收支計算を明らかにすれば、彼等が只藝を賣るだけでは到底立ち行かれぬことが明らかになると同時に、藝を售ると云ふことが表面の看板に過ぎずして、其實は淫を鬻ぐにあらざれば立ち行かれぬと云ふとも、隨つて明瞭になる。左に其收支の大要を掲げん。

第一收入より述べんに、藝妓の收入は其容姿、氣前、性質等に依り夫々等差がある。抱主は其金を懸くるに先ち十日とか二十日とかの間自分の手許に置いて、能く此の點に就き調察を遂げ、而して後其金高を定めて金を懸くるのであるが、今玆には假りに三年五百圓のものとして收入高を計上致しますれば先づ一ヶ月間に賣る線香が八百本から千本の間である。線香一本の價を八錢とすれば八百本で六十四圓千本で八十圓となる、又夫れを十錢にすれば八百本で八十圓、千圓で百圓となるのであるが、此の八錢とか若しくば十錢と云ふの差は時間に引直せば詰り同じことになる。夫れは各遊廓の適宜である、或は八錢として時間を縮めて居る遊廓もあれば、十錢として時間を延ばして居る所もある。今假りに八錢として一ヶ月に千本を賣るものとすれば、其の上がり高が八十圓である。所が此の八錢なるものが悉く藝妓の所得になれば、彼等の手許も餘り困難ではない、隨つて淫を鬻ぐが如きことをなさずとも可いのであるが、實際の所は八錢の中の半分即ち四錢は席貸の方に引去られて仕舞ふのであるから、殘りは僅か四錢よりないことになる。左すれば千本賣つても一ヶ月の實收は四十圓よりないのである。彼等の手許は果して此の四十圓で一切の支出が遣つて行けるや否や、此れば次ぎに述ぶる支出部を見れば能く判るのであります。

第二支出に就ては、第一に數へなければならぬのが月賦崩濟金である。五百圓の金を三年三十六ヶ月に割つて拂ふとすれば、一ヶ月が十四圓となる。此れに次いで大きな義務は五百圓に對する利子である。斯う云ふ金の利子は月二割乃至二割半が極りであるが、安い方の二割で勘定をしても月に十圓となる譯である。此の利子は元金の減るに從ふて月々減つて行かねばならぬ筈であるが、そういふ面倒な計算はせぬ、大概六ヶ月とか一年間は据へ置きの儘で勘定をするから、本人に取つては誠に不利益である。

次ぎが金三圓税金、同じく七圓食料居間代衣具代、同じく三圓衣裳の損料同じく、三圓友達青樓等の吉弔費、同じく二圓檢番積立金、同じく二圓足袋下駄、同じく二圓髮結ひ、同じく一圓五十錢師匠の月謝、同じく一圓風呂賃紙代等。

以上を合計すれば四十八圓となるが、此の外に今一つ偉いのがある、夫れは中元と年末の御祝儀である。此れは平素最屓にして貰ふ青樓、料亭、お客への贈物並に仲居おちよ坊、男衆への祝儀であるが、此の金が少くとも一回に七十圓以上百圓は要る、假りに七十圓とするも年に百四十圓を要する譯になる。勿論此れに對しては青樓にせよお客にせよ花を附けてお返へしはするが、夫れは別段足しになる程のことではない、詰り百三四十圓は臨時の借金となつて、高い利子を合せて拂はなければならぬ。此の外にお客に出ぬ間即ち自分の居間に居る時の衣替へが要る。此れも月に割れば少くても二三圓は要ることになる、其外に間食費もある、少し虛榮心のある子供は身邊をも飾る、斯う云ふ金を積れば月にどうしても三四十圓は足らぬことになる、此では迚も藝を賣る位では行けそうな筈がない。

併し此の計算は始めて藝妓になる本人や其親達には氣付かぬかも知らぬが、金を懸くる抱へ主はチャンと知つて居るのである。斯る計算になることを知りながら大金を懸くるのは、藝妓は藝を賣るばかりでなく、淫を鬻ぐと云ふ最も收入の多い副業のあるのを承知して居るからである。而して亦始めに此の計算を知らぬ藝妓も、愈々藝妓となり月々の收入を見るに至れば、自分にも平然としては居られぬ。是非とも淫を鬻いで塡め合せをなさなければならぬと云ふ心が起る(未完)

眞を求めよ

福井壽郎

五、今日の宗教界及其の信者

教育既に其の根本意義が遠く人生の實際原則を離れ、吾人の生存目的を高調純化し得ない不具者的發達をなして居る今日、宗教も亦不完全不條理なる點少なからずあるのである、私は教育及び宗教が共に道を誤らずして、初めて善き人が生れ出るのであると考へる。（私は善人の世に輩出することを益々多きを望んで決して偉人の出生生存することを望まない。偉人は吾人に刺撃を與へるものであるが決して幸福にするものではない。偉人の與ふる刺撃たるや正確なる頭腦の人が之を受くる時は其の弊害なからんも、然も正確なる頭腦を有する人は少なくして偉人の刺撃あるが故に身を誤るに至るもの多きを加へるのである。故に私は偉人によりて不穩當たり易き思想を世に殘されんよりは傑出せずとも善人の多からんことを求めるのである）而して此の善なる人の多からんが爲めには是非とも宗教教育の全きことを望んで止まないのである。然るに二者若し異なる方向に進み或は其の説くところ互に相悖るが如き場合に於ては到底吾人の望む所の權威ある善人は生れんとしても生れ能はざるに至るであらう。

人或は云ふであらう。善人出でて誤れるを正さんと。これ一見正當なるが如きも皮相の言であつて結果を以て原因に混淆せしめたものである。少なくとも己れの屬する時代の風俗習慣秩序制度文物を見ても其の誤れるを發見し得るが如きはなか〳〵容易なる事業ではなく聖賢の域に達せる人のみにして初めてよく能ふ所であつて善人たるには如何なる凡人たるを選ばないのである。人は一人として善人たることを得ざる者なきと同時に萬人又一時に善人となり得べきポツシビリテーがあるのである。

斯の如く人の圓滿なる發達は須らく宗教教育の力に待たなければならんのである。然るに文明を誇る現今の世は、反つて文明なるが故に禍を生んで無宗教の自由、權威を叫ぶが如き大馬鹿者を出すに到つた。

乃ち太古文化未だ開けず人智蒙昧なりし時代に於ては來世を信じ偶像を以て宗教の本體となしたるも今日に於ては、サイエンス開けて力學化學哲學生物學解剖學等は以て人體の組織作用生殖の理人生の劣弱なる力等を説明せんとして、淺薄なる人をして科學萬能時代の來るべきを思はしむるに至り引いては宗教を捨つるが近代人（否な誤れる近代人の一部）たるかの如き感念を抱かしむるに至つた。「我輩は無信仰、無宗教靈魂必滅唯物論的生のみを肯定する。」と云ふとは恰かも「己は新らしい彼奴は古い」と云ふことを以て人としての價値を定むる標準として誤れると同樣に無神を以て標榜するのが偉なるかの如くに感じて無神なるを稱へて得々としてゐる。正に憐れむべく悲しむべき思想ではないか。

サイエンスの力は僅かに宇宙の大神祕の極少部分を近年に至りて覗はせ得るに至つた。然り覗はせ得るに止まりて解釋し得ないのである。學理々論は或る點迄の眞理には到達し得られる。然も如何に我々は科學を過信するとも卑近なる眞理以外なる高遠極まりなき宇宙のクリエーターを科學を以て解し得ないではないか

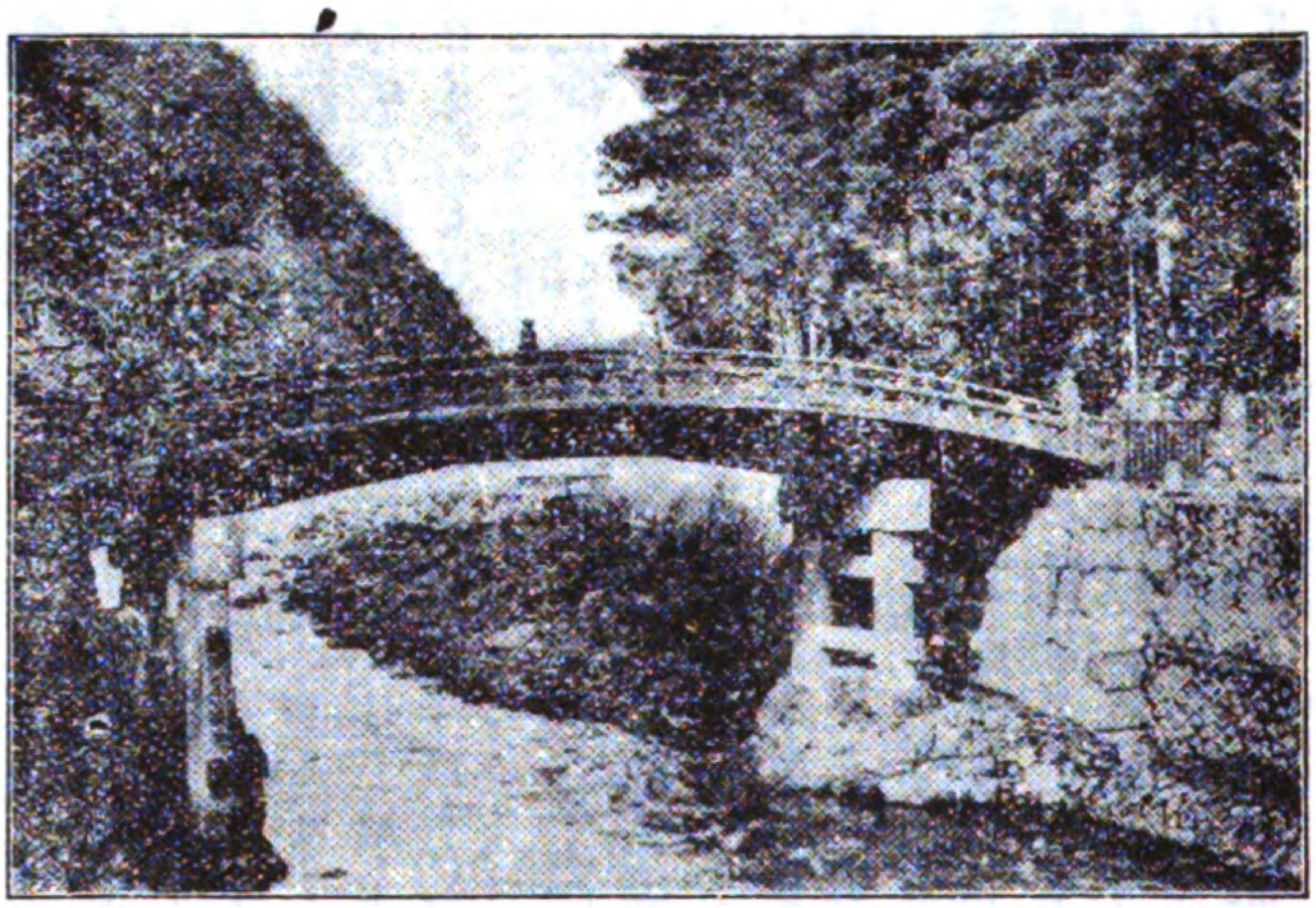
若しクリエーター、クリーチユアを認める以上は我々は宗教を不必要なりとなすの理由を認め得ないのである。又實際吾人は無宗教にては我が生の善に徹底し得ることを期し難いのである。此れ自己は微少貧弱、自己の善と信ずることは以て、宇宙の主宰者なる神のもとに、準繩たり能はざる所以なのである。

斯くの如く宗教は崇高なる宇宙の原則より發せる

人の進むべき道と人生とを教ふるものであるのだ。將して眞實の宗教が此の深き意義を有するとなせば今日の所謂宗教家なるものは如何なる規矩に準據して衆生濟度の大法を布きつゝあるか。私は聲を大にして此の大問題を此所に掲げただけ、大なる失望を今日の宗教界並びに其の信者に信ずることを自白せざるを得ざるの破目に陷つてゐる。

今日は百般の時物、悉く小康を捨てゝ其の大局に目ざさなければならないと云ふ時代に進んでゐる。束縛せず壓迫せず自由なる自己の頭を以て根本的徹底的に宗教の殿宇に入つて以て自覺の明を啓き其の福利を享受して人生の高調を期せなければならぬ時代に逢着してゐる。正に宗教の眞髓を探り得て國民の頭上に其の福音を傳へなければ我が帝國は人倫的に滅亡するより他には途がない位に今日の精神界は紊れてゐる、見給へ宗教家宗教界の現狀を！

時代は浸々として進歩しつゝあるも彼等には何の進歩もないぢやないか、二十世紀とは新時代と云ふ言葉であるが宗教界宗教家は恰も二三世紀も以前のパンを其の儘今日食ひつゝあるが如くに私には見える、彼等は今日尚未だ太古の迷夢に浸醉して自家宗派の小競爭にのみ汲々乎として力を致して相爭ひ具眼の士基督以上釋尊以上日蓮以上に達し得の士未だ一人として生れ出でないのである。今日の既成宗教中最も有識善良なりとせられて居る佛教基督教も共に小天地の裡に消極的なる樂園を求めんとしてゐる貌にあるではないか、人あつての宗教ではないか宗教の爲めの宗教なれば或は一を賞して他を排するも良からう。況んや一長一短の今日の宗教に於ておやである。各自が是と信ずる所に向つて信仰を捧げれば良いのである。或は斯かる形式の定まつた既成宗教によらずして眞理よりして信仰の道を得るもよからう。要は或は神と云ひ自然力と云ひ神通力と云ふも、吾人を創造し宇宙を主宰するクリエーターに對して自己の爲すべく、盡すべき道を知れば足りるのだ。其のこれを知るの道は幾多の岐路に別れてゐても同じ高峰で同じ月を眺め得れば良いぢやないか。


夏川を越す嬉しさよ手に草履

然るを基督教は基督教で其の大立物からして他の宗教に罵辭を放つ、佛教は佛教で相互の攻擊をこれ事とする。何所にかクライストの愛と釋尊の大慈大悲の權威があるか。根本目的より離れ去つた宗教は慘たるものだ。みじめなものだ。

キリスト以來マホメット以來釋尊以來日蓮以來一人として此等に比するの人がない。蕭條たる今日の宗教界ももういゝ加減に荊棘の蔓延にのみ委することをやめても良いぢやないか。人類の幸福を楯として華々しく衆生の濟度の爲めにつくす人が生れる時期ぢやないか。此れ決して失望すべき問題ではない。僞善を捨てて眞理に入れ、其所に根本の原則は流れてゐる。其所に所謂十萬億土の蓮花の上に座する報ひ天上遙けき樂園のメロデーを聞き得るのである。

六、何故の僞善ぞ

僞善者は何れの世にもある。然し小才子がちやほやされて好辭令を有せざるものは比較的優秀なる頭腦を有して尚弊衣蓬頭に甘じるべく餘儀なき今日に於ては僞善をなすものは實に多數を以て蔓つてゐる。彼等は實際眞實の權威を知つてゐる。故に僞善者と雖も無智文盲よりも良きが故に彼等は度し難くなつたのだ。善を爲すは善と知り僞善をなすはこれ不善なりと知つては居るが扨て實際に、眞實

を行ふにはあまり修養が足りないのだ。信仰がないのだ。心の根柢に俯仰天地に恥ぢざる心念のいかに高尚なるかを知らざるが故に、僞善をなすものは其の心理眞實の權威を示さんとして、善の假面に醜態をひそめて自己を枉げることをなすのだ。

哀れむべし彼等僞善の人は小才子に生れたるが因により所謂小悧巧に立ち働き得るのだ。人に指揮され監督の嚴なる所に於ては實着に敏捷に用に立つ人である。拔け目なく凡人に少しく智の拔ける所あるが故に人の目を掠めて僞善を働き得るのである。誠實の人は辭を弄しない。併し決して惡はなさぬ。善ならぬことを望み又善の爲めに倒れる迄努力し得るのである。確實の人と僞善の人、大凡如斯異なれる性格を供へてゐる。故に僞善をなすものは頗る巧みに僞善をなす。

然も僞善を爲すものと雖も善を尊ぶ心がある僞善を行ふて終生耻づる所なしとすれば正にそは神のクリエイトしたる人の階級に屬せざるものと言はなければならんのである。

眞實の壯嚴私は僞善者は之を悲しむけれども惡みはしないこれ惡虐者よりは良く無分別者よりは尙導き良いのである。尙良心の痲醉し果てざるものである。惡を惡として堂々となす奴は許すべからざる人間なるも僞善をなすものは一段未だ恕すべき點がある。強虐者を以て強盜に比し僞善者を以て窃盜に較べて正に當を得てゐるであらう。（世の中には善をかたり善の假面を被ることを惡人よりも惡く見るものがあるけれども）私は僞善をなすものに今一息の努力と徹底と悔悟とをもつてもらひたい。小さな心から醒めて根柢に思ひ至り、善の爲めになす努力の愉快に目覺めて貰ひたいと切に祈るのである。

世には我は聖なる基督の德を慕ひ其の教を奉ずる者決して惡は神に顧りみて爲さず惡人と伍し惡人と面晤するをも潔しとしないと云ふ人がある。何たる淺ましい言葉であらう。この樣な消極的の信仰より今少し目覺めて宗教たるものを解釋して、惡人と伍し盜人と交はり此等を愛し慈しみて善に導かんとする所に眞實なる愛はなからうか。大なる慈悲ではなからうか。惡人と雖も導くに法を以てし德を以てし慈しみを以てしたならば必ず喜ぶべき結果が表はれるに定まつてゐる。

僞善をなす者よ。命五十年の後は又人として生れてくるや否やはわからないぢやないか。若し僞善をなす者が靈魂の不滅を信じ因果應報は理の當然なるを信じ深く汝が神によりて造られたるを思ふ時に尙僞善をなす勇があらうか。

私は此所に一の例を上げたい。或る一人は他人の不憫に對してよく同情の涙を有する。然るに此の人の憐れみの心を他人が僞け彼れの同情深きを利用して其の同情心を弄んだとき、而して彼が自己の僞はられてありしことを知つたとき矢張以前と同じ心を以て其の人を憐れむか如何か、併して世の所謂同情家なるもの丶同情心は此の問題に對して如何の心を持つてゐるか。多くの同情家は其の詐はられしを知つた時矢張り同じ心で詐きし人を憐れむは少なからう。これ未だ眞に入らざる故である。自己が僞はられると知りつゝもなほ己れに能ふだけの力をつくして要求者に其の要求を充してやる。充してもらふ人よりは充してやる人間の方がはるかに愉快であらねばならんのである。欺いて他人の同情心を弄んでうま〳〵と成功したときいかに詐欺漢と雖も欺き得た愉快よりも欺きたる苦痛乃ち勝利の悲哀を感ぜざるはなからう。

多くの善なるが如くに見ゆる人は自己がうま〳〵と詐僞にかゝつた時、而して自分の同情心が裏切られてありしことを知る時に彼は愕然として「畜生！彼奴は己れをだましてる」と叫ぶだらう。嗚呼、併し何ぞ知らん。彼れ自ら詐僞し虚言をしかも大眞面目な面をして吐いてゐるぢやないか。彼れの人を憐れむの情眞實に其の本心より出でたるにあらざるが故に詐僞にかゝりしを知りて怒り、詐僞なりとも自己之を知らずんば全き同情と滿足するのである。僞はられたと云ふ事は末である、他に與へたと云ふことは愉快ではない。慈善は其の根本此所にあるのであらう。此所の眞理を會得すれば足りるさあ僞善を捨てゝ赤裸の善に進まう。衆生は皆維れ兄弟維れ姉妹ではないか、一人として我々と交渉のない人はない筈である。

七、無信仰の悲哀

論じ來り論じ去りて今日の社會制度上幾多の弊害は皆この誤れる思想上より來

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

れるものと斷じ其の誤れる思想は實に各人に信仰心の缺乏せるによると考へなければならんと思ふのである。人生を享けて此の世にある、無信仰は乃ち無鐵砲である。信仰は實に生きるべき基礎となるの感念である。而して信仰のなきはこれ人生の破壞であると云はなければならぬ則ちこれなきは徹底し得ざる人悖德の行爲を何等の羞恥とを感ずることなく敢てなす者、高尚なる人類の共同生存の基礎を破つて原世的創世紀の野蠻無秩序に歸らんとする者である。

有史以來數千年聖賢と稱せらるゝ人は此所に此の衆生の無信仰なる結果の恐るべきを感じて偶像敎を創するに至り、ついで一神敎汎神敎は相ついで稱へらるゝに至つたのである。數千年以前既に如斯宗敎の必要なることを認められたのだ。然るにもかゝはらず今日は無信仰に歸らんとするのだ。

此處に醉生夢死に終る人が生れ、生の煩悶を自殺によりて逃れんとするのだ。無信仰の極は悲哀なのである。

無信仰よりして私は少しく自殺者に對する意見をのべたい。佛敎は悲觀主義が伴ふてゐる。それに加ふるに在來佛敎にのみ養なはれ其れに和するに武士道を以てした日本の昔時は自殺をして罪惡なりと感ずるの感念を缺き場合によりてはこれを賞讃した。此所に於て幾多の形式をとりて自殺はあらはるゝに至つたのである。

もしも各人が生命の尊貴を感得して居るなれば自殺を容易には爲し得ざるわけである。時に頃日來流行の如くに青年男女が自殺する。怪しげなる遺書の傳ふる所を見れば哲學を學んで人生の不可解なるに悲觀して、其の曰く戀の爲め、其の曰く生命を保つもつひに何等の意義もなきによりてと、而して先立つ不孝の罪は御許し下され度くに終るのだ。社會も亦此の馬鹿げた事實を大袈裟に吹聽する。如何なる原因あるとも自殺の罪惡なる、差異はない。堺枯川氏なども自殺としてなすなれば罪惡ではないとして居るらしい。其の理由によりては良いと云ふのである。私は乃木大將の死に對しても或は不敬なりと言はれるかも知れないが乃木大將もあれだけのものさと考へただけである。それは馬鹿なことをしてくれたと云ふそれだけのことである。頑固一點張りの武士としては大小の尊敬をするけれども……

これ無信仰に伴ふ常然の悲哀である。

八、結論

私は此所に結論として私の人生觀に筆を擱きたい。

宇宙無限の長久と蜉蝣數瞬の生に比すべき人生、人は地球上に生きて萬物の靈長なりと誇る併し人將して靈長であらうか、地球は太陽の周圍を運行する、月も地球の周圍を自轉しつゝ廻り太陽の周圍を運行する、而して多く星と共に太陽系を形づくる其の小なる地球の一部分を占據してゐる人が地上の王者と自惚してゐるのである。太陽―地球―月―人間。

太陽は將に燃えてつくさんとし地球は幾億年以前に既に冷却し去りてやがて第二の月となりつゝあるのだ、其の死滅に近づきつゝある地球上の或るエイヂの生物、それが人なのだ、人の以前の生物、而して地球が人の生息に適しなくなつた時に生れ出づべき或者、如斯觀すれば萬物は凡て死である。

乍併全てが死であるのに何が故に生み出されたか此所に吾人の義務がなければならぬ、人類の責任がなくてはならない。

人として生れたる義務は眞正の生を終る事である。吾人の生存目的は只だ此の眞正の生につきる。六ケ敷云へば限りはないが此の地上に十六億の同胞は生息してゐる。此の多くの人の爲の幸福をはかる此所に意義が發見せらるるのである。

自己の幸福なる生は以て十六億を高調する十六億分の一である宇宙も死も到底吾人の力で釋然と解決し得ざるものではないか、孔子は之を知るを知るとなし知らざるを知らざるとなす之れ知るなりと云ふて居る。『孔子は生も死も不可解として解し得る所に安心を求め釋迦は生死一の如しと觀じて感念の目を閉ぢた。古今絕無の大人尙如斯してある。況んや凡人小人常人に於ておやである。然るをホレイショーの哲學何を敎ふるものぞと華嚴に身を投じた青年、「自殺者の日記」なる小說を抱きて御嶽山中に割腹した青年、僅かに數卷の哲學書によりて宇宙の神祕を探らんとする其の無望や將に憐れむべしである。故に藤村などは大なる悲觀は大なる樂觀に一致すと迄釋尊の眞似をしながら弱者に終らなければならん一大矛盾を敢へてなしたのである。

人力をあまりに過大に見ると云ふこと

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

が既に大なる誤りの源である。

Even solomon in all his glory who not arrayed like one of lilies.

とは千古の名言である、人の富は人力である、宇宙の創造になる美と比較して正に然るべきである。これによりても神の偉大、宇宙の權威が認められるではないか。

吾人は正に分に安じて、眞正の生命を汚さない樣に努力しなければならない。

軍隊に於ける精神教育に就て

木村盤根

私は豫備の演習召集に遭ひ三週間某隊へ入營して種々の感想を得ましたが、茲に精神教育に就て述べて廓清會諸兄の御一願を煩はして見度い。

四年前の現役當時に比して兵術上の進歩は確かなもので今何社會＝科學＝の趨勢に後れまいと努力してゐるのと內務班に於て新古兵の親睦が日に厚くなつて行く事に對しては頗る嬉しく感じたが、現役當時から私の懸念してあつた精神教育は微塵にも時代の恩惠に浴して居らないのを見る時失望せざるを得なかつた。

軍隊が特種な生活方であるから社會の思潮文物を直ちに採つて敷衍しようとする愚なる希圖は欲せないが社會の進歩に隨伴して其轍を踐んで行かねばならぬ事を考へて居つたが、軍隊の精神教育は常に低徊して四年前吾人の受けた敎育の方法、內容、形式は更らに改革せらるゝなく四年後の今日徒らに舊態を墨守反覆して居るに過ぎない。社會は日進月歩向上して居るから彼此の乘離甚だしく茲に思想の連鎖が絶たるゝので二三の者は超然主義を採り他の大勢は低級な生活に甘んじる樣になり折角の軍隊教育も何等の效果なく偶ゝ無用視せられんとするは私の最も遺憾に感じた點である。勿論私でも現時地方青年の風敎を樂觀して居ないが軍隊內位表裏の甚しい處とは思はない。我等日常の生活が眞實を基礎とせねば一日の生命も得られないから、「生活卽眞實」で常に現實を曝露して行かねばならぬのに反して、軍隊內に於ては表面に表はるゝもののみを採つて賞罰勤惰の考證とする處では、裏面が常に隱祕看過され總ての醜陋の事が暗々裡に葬られ、眞實曝露が動もすれば「要領の惡い奴」の罵言を甘受し鄉里に信用の失墜となるので吾人は或る特種の偏則的な精神教育を體得して除隊になる故、社會に及す影響の決して尠なからざるを思ふ時、之れが等閑に附して置く譯にはゆかないと考へる。

軍隊敎育を二樣に區別して形式的敎育と實質的敎育と見る事が出來やう。換言せば軍隊的敎育と一般的敎育である。前者は軍事上に關した一切の兵語兵術動作等、軍隊特殊の敎育と、後者は人間生活の根本たる精神の敎養にある。然るに現今後者の敎育を「軍人的精神」なる特殊の語調と意義を用ひて御勅諭の「此五ケ條は天地の公道人倫の常經なり」との精神を沒却し、兩者一樣に軍隊的に形式敎育を施して居る樣に見へる。故に公共の利益を計り水火災害等の場合に「在鄉軍人」と肩書せる名刺を振廻し、如何に吾人在鄉軍人が名利に汲々たるかを窺知せしむるに徵して明かな事と思ふ。之れ等は全々外形皮相な青年より胚胎せしもので、軍人精神の根本を辨ぜざる結果と云はれなるまい。尙隊內に居つても下級者が士官も畏怖し軍隊的の動作が迅速であれば其の者の性格、素行等は輕視せられ僅少の省みる處とならざるを見ても、軍隊敎育の如何に形式的なるかを窺ふ事が出來ると思ふ。是れ等は一も二も軍隊的に敎育された將校の謬想より來るもので敎育擔任の將校下士の責に歸せればなるまい。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

斯様な譯で軍隊精神教育は實質的に日に頽廢し、社會から乖離し、除隊後は形式外形を尊び實に固陋な人生觀を抱く樣になるのは、眞に悲しむべき現象と云はねばならぬ。

かゝる重大な事を多く問題にされないのは、監督長官又は司揮官は中隊長其の他の者が、自己中隊の成績良好ならん事を欲して昨製せる形式的報告や、表面的統計にのみ信賴し、兵卒の生活狀態の眞實に接觸せざる不知の鈌陷から來るものと信ずるも、世上在鄉軍人の間に論議せられざるを不可思議に思ふ位である。

要するに軍隊內で最も重要せられて居る軍人精神の涵養も、其の隊長及敎育者の努力に比し何等の反響もなく、世上甚だ價値の薄いものなる事を知つて貰へば滿足である。之が改善策は多々あるも、將校の人格に待つ事は第一であると信ず

起てよ憂國の士

麻布青年會幹事　手塚藤太郎

つら〳〵我が國の現狀を顧るに實に痛心に堪へない。法律上の罪惡即ち小石川七人殺本所の四人とか言へば、直ちに世人の目は是れに傾注さるゝにも拘らず是等より以上の大きく廣く又深き道德上の罪惡は日夜到る處に行はれつゝあるに世人は之等に對しては少しも眼を轉じないのは寧ろ不可思議の至りである。先達大倉商業學校で保證人(父兄)に對し校長より訓示が有る故、是非出席されるやう通知に接し私は保證人の一人として參りしに、席上校長より父兄の心得及注意すべき事を懇々と話されたのである。一體今回の此の會合を催した譯は大倉商業學校は殆ど腐敗分子がないとまで言れて居つたのが近頃四五名の善からざる分子が生じた故他生徒の爲め直に其の者に對し停學の處分をしたと云ふ事である。勿論斯の如き者を出すと云ふ事は學校當事者の不注意にもあるが、又家庭に於ける父兄の監督如何によることも甚大である故充分の注意を望むと云はれた其他種々注意すべき事項を話された。要するに斯學校當事者が父兄等を集めて注意を促さなくてはならぬ程に世の青年學生が腐敗墮落して居るのである。之を常に正に愛し義を慕う處の私共は如何したら善いであらうか。

又先達私は東京市庶務課の調査に依る東京市に於ける結婚及離婚の統計を讀んだ、即ち一年間の結婚數東京人口に割り當て千人に付九組と八分八厘强離婚數每年の平均一千八百三十六組即ち千人に付一組と四分四厘弱之を十五區に割ると結婚離婚の最も多きは第一淺草、本所、深川其の次に少し下つて第二神田、芝、下谷、京橋、日本橋其の次に第三本鄉、小石川、牛込、麻布、赤坂、四谷、最も少數なるは麹町區である。併し茲に私共が最も注意すべき且又歎かはしき事は私生兒の數が他區よりも最も多きは麹町區であると云ふ、嗚呼上流家庭の紊亂、斯く見來たればあらゆる社會凡ての階級を通じて不義不道德は行はれ金錢財寶の前には人格も品性も皆無と言う有樣誠に私共は慨嘆に堪へない。

斯くの如く世道人心の頽廢したる現代に於て私共は何を何すべきであらうか、只座して沈默を守る時であらうか、又は机の上の空論に花を咲かす時であらうか、否然らず行いて正義の爲に戰ふべき時であると思ふ愛する六千萬の同胞を罪惡の巷より救ふべき最も善き機會で有る。起てよ憂國の士、起てよ正義を愛する諸君、彼のウヰリアムブースは天の使命を受け人道の爲に起つたのである。併して今や世界五十八ケ國に渡つて同じ精神を以て血と火の戰士が奮鬪して居るのである。アブラハム、リンコルンは奴隸開放の爲めに起つたのである。僅か十六歲の少女ヂヤンダークは故國の危急を救ふ爲めに起つたではないか、起てよ諸君、先づ諸君自ら高尙な品性を造り純潔な精神を得て併して以て共に勇ましく戰ひたいものである、ソロモンの箴言に「美人は獅子の如く勇し」と書いてある。終に臨んで若し諸君の內に未だ廓淸會員になつて居らない方があるならば是非此の際入會して人道の義戰に加はらん事を望む、團結は力なり「二人は一人よりまさる」と言ふ諺がある。此社會人心の紊れた時代に於て是非諸君が我正義の團體に參加されんことを熱望して止まないのである。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

謙信の雄偉と制慾訓

慶北 松田 秀作

我日本國に生れたる者は、北越の風雲兒上杉謙信が子弟を戒めたる「制慾訓」を必ず固守すべき者である

一、武士たるものは女子に向ひ笑へる面を假初にも見すべからず、人の姿をツク／＼と見る事勿れ目耳鼻より心肝に通じ色に出づるものなり深く愼しむべし、五尺の體を破るは此の一つにあり禁ずべきなり。

一、老若共に淫亂の噂など語るものあらば人の耳に立たぬよう身を退くべし。

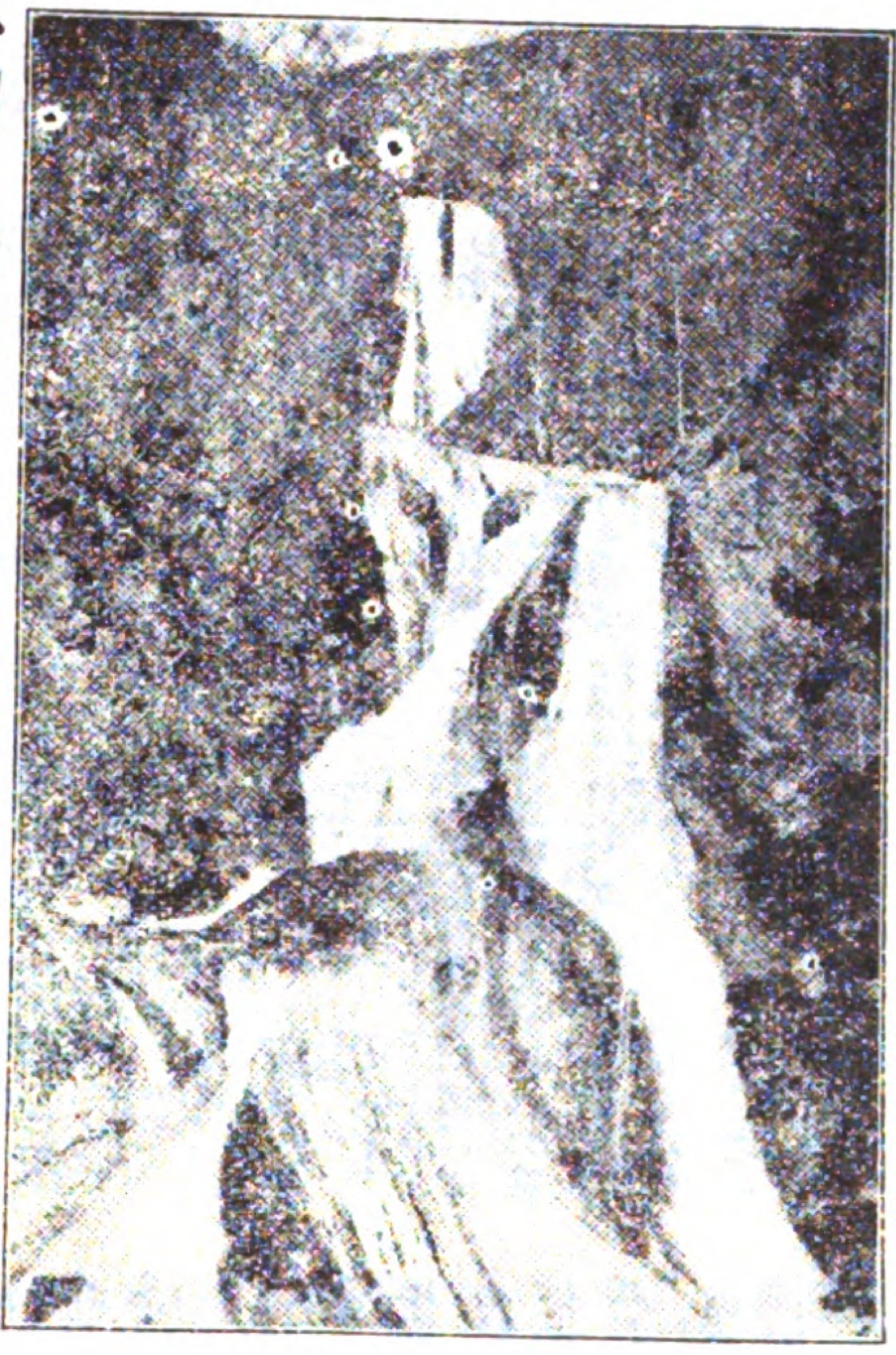
一、稚兒若衆女人に假初にも戲事いふべからず淺々しく見ゆるなり。

亂麻の如き戰國の世に秋霜烈日の氣を吐く謙信の雄偉は、蓋し之れあるが爲ではあるまいか。我等は此の嚴格なる制慾訓を一般人士に固守せしめたきものである、社會の現狀を見るに一々深慨胸に徹するを覺ゆ、二千數百年來の日本婦人の美風道德を、破壞しつゝある女優藝娼妓新しがる女共、常に淫猥文學を流布せしめて得々たる三文蚊士や、因業極まりなき色魔富豪の奴輩や、貸座敷業者を膺懲して天の責罰を知らしむる絶好手段は何んであるか、吾等は徒らに唯に大言壯語して快とするものにあらず、然かも今や風敎道德は癈れ婦人の貞操は蹂躙せられ、かくの如くんば我が國の前途も危機に瀕して風前の燈火然たり、如何ぞ我々は拱手傍觀して居られべきぞ、宜しく彼等美風道德破壞主義人物の頭上に鐵拳を振舞ひ、彼等をして正業に着かしめ、醜業者の全滅を計るべきである。然らば其原動力となるものは何んであるか、單に本會をおいて他にあらずだ、立て諸兄奮へ諸姉、亡國的汚氣を一掃し、我日東帝國をして一等國の名を恥しめざる樣期待せられん事を切に望む。

豫想外の收穫

小樽 伊藤 繁太

ポーロ曰く「散らされたる者悉く福音を傳ふ」と小生は農家に生れたる者なるが、何物かの器として撰ばれ、イエスの惠によりて罪は赦され、救世軍に連り暫く東京にて兵士の義務を盡し居たるも少しく病を得たり「我が惠汝に足れり」東京の浮浪民即ち書生の食ひつめ者、又は博徒のみに傳道するは、ブース大將の理想を完全に移したるものにあらず、自分は不動的性格を備へた農民にキリストの救を傳へ、信仰的農民として海外發展を試み排日問題の解決を見んと北海道に渡り時機を待ち居たるに、神は石を求むる我にパンを御與へなさる積りか永く忍耐の報が次の如き條件にて土地を無償提供する義人現はれたい。



南無大慈々大悲の清水哉

小樽は風紀に於て他の都會より亂れ居たるを自覺し如何にしてか之れを矯正せんと考慮しつゝある時に、文部省にて北海道に高等商業學校建設の議あるや、小樽に學校を建設すれば人格ある敎授諸君の盡力により て亂れたる風紀を矯め得んと、三十萬圓の財と均しに四萬餘圓を費したる敷地を寄附して高商は建設したるも風紀は一向改らず、却て學生によりて一層小樽の腐敗を助長するの勢を示し、近來新聞の三面の御世話になる者多く、遂に隱し切れずして二三の學生を首切臺に上せ停學處分をなして臭いものにフタをなすが如き醜態を演じたりき。

尤も小樽人の考への如く敎授は物知りなるも人にものを敎ゆるに止まり人を救ふ力なき爲め却て惡魔の進擊に遇ひ目下救ふ可らざる魔風に襲はれるを憂ひ、高商より瞰下し得る場所にて公園のグランドに三町以内山に望み水に面し眞に仙境とも云ふ可き土地に人を救ふ目的にて學生寄宿舍を經營する樣にとの相談を持込まれたり。時價千圓二十年無償とすれば低利に見ても五千圓之れを受けると受けざるは矯風に志す者の決心如何に依る事、高等商業學校は小樽のみの學校に非ず、日本全國の學校なれば全國の義人に謀り五千圓の建設費及經營費を得て土地提供者の意志に基き血と火の精神に充ちたる働をなし、眞にキリストと生れ死を共にする義人を起し、日本の將來に善き奉事をなさん事を希望して居ります。全國の同情者よ、此の事業の現實するやう御祈り下さるやう願上ます。

孝行か不孝か

山形縣 阿部 涙香

縣下の某新聞は、泥中の蓮と題し左の記事を揭げてあつた。

「北海道札幌薄野遊廓貸座敷高砂樓の抱娼妓立花事藤原かれ(二九)と云ふは本縣生れの者にて今より五年以前々借金八百圓にて同樓の抱へとなりたるものなるが、鄕里には年老ひたる兩親と當年七歲になる女の子を殘し置きたる事とて一日も早く足を洗はんものと陰日向なく働き居たる結果、一昨年御職の位置を占めてより三枚と下りたる事なく從つて借金も次第に減じたるも親子の事のみ案じられ樓主に事情を明したるに、樓主も立花の心に感じ何にくれとなく世話し昨年夏頃右の家族をも札幌に呼び寄せ、豐平町に借家せしむる事となせしかば、立花も大いに喜び夫より一層忠實々々しく立ち働き、三人の生活費を仕送り居たるに、此頃父は病氣に罹りたるより立花は百方言葉を盡し、慰め子供が高砂樓に逢ひに行く事ある時は、客より貰ひし菓子や料理を病め

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

る父に土産にやる等孝行怠りなき甲斐ありて、父の病氣漸やく快方に赴きしかば、母に何にか内職をさせ父の手助にせんものと審議に至り前借金殘り百圓なるを更に百圓を前借し、母の許に送り身分相應の商を營むやう申送りしより此上なく喜び、此の上は娘を學校に入れ追付高潔なる家庭を作らんと思ひ居るとは近頃殊勝の事と云ふべし」云々。

嗚呼此記事泥中の蓮といふはそも何事ぞ、親子の情あらば何故早く正業につかざるか、例へ母に内職させたきとて又も百圓前借して送るとは見下げ果てた・るものならずや、百圓前借するより百圓の借金を少しも早く返して正業につき親子共同樂しく暮すがより以上の孝行にあらざるか、百圓の金に親の喜ぶは當然の事なり、血を分けた娘を女郎に賣る位の親だもの、娘の苦勞は腦中にあらずだ。親の身よりも子の身を思へ娼妓の子が其家庭より如何なる感化を受け、周圍より如何なる影響を受けて、如何に成人することであらう眞に子を愛し親を思ふならば、乞ふ立花とやら及び御身と同じ境遇の娼妓達よ反省せよ、而して少しも早く正業に就け眞の幸福は然る後に來らん。

何故娼妓の情死を輕視する乎

山形縣　松田醉花

本紙第五卷第五號川崎遊廓の情死頻出なる記事を見て誰か此可憐なる娼妓に同情せざるものあらんや。若しありとせばそは眞人間にあらず。白痴ものなり。ウツケ者なり血も涙もなき人形同然の者なり。娼妓の情死其のものは獨り川崎にのみに止まらず、ありとあらゆる遊廓に於て起る悲慘極まる大恨事なり。我隣町左澤町の遊廓に山吹と稱する娼妓ありき。客ある每に情死せん事を口說き遂に白岩町の某氏と毒藥を服用し兩人折重りて死に至る之を以て世間曰く山吹は誰にも彼にも情死を迫る彼は死神に呪はれたりしならんと、其心中を察し憐れむもの一人も聞かず、無論彼は死神に呪はれしならんか、然らば世人の所謂死神なるものは如何なるものか先づ彼等の說を聞け曰く彼等の考もなく、只無意識に死にたくなるものなりと、嗚呼愚とや云はん物不識とや云はん、心の奥を見極めずして只上面のみを見て直ちにかくと斷定する世人こそ愚の骨頂と云はんかな、吾輩をして暫らく云はしめよ、例令娼妓なればとて彼等は元は兩親の膝に抱かれて育まれし天つみ使にも似たる清き乙女なりしなり、などてや死を心よしとせるものあらざるべし、然るにかくも客每に情死を望むに至れるは其の身に自由のなき事と廢業の到底不可能と思ひ居る事との二事に起因せると思ふ此の二大原因の一は樓主の罪にして一は警察の罪なり樓主及警察は娼妓を殺しつゝあるも其裏面に於ては、たしかに公娼制度の兩者をあやつりつゝあるなり、然らば死神なるものは即ち公娼制度其のものなりと斷言して憚からぬ、然るに世人は此公娼制度を惜まずして其の身の自由を掠はれ悲しき厭數も笑にまぎらし。厚化粧に涙をかくし何の面白可笑しき事もない世を悲觀したる結果は情死沙汰となる之は境遇の然らしむるものにて憐むべくして惜むべからざる此公娼を殺人犯の如く曰ひならし居るこそ奇怪至極のことなり、某新聞の懸賞一口話に「飛行將校と娼妓と情死したそうだ。」「どちらも浮いた稼業だからさ」と云ふのが當選してゐた、此打沈み勝なる稼業を浮いた稼業とし、公娼をして皆浮氣者と見做し居る、こんなわからず屋のみ多い爲、重大なる情死も等閑に附せられ居るならん、病氣で死ぬものなら只其人一人に止まれども、情死となれば必ず兩名の者を失ふものなる事は論を待ず、一名死に至る者より兩名死するを輕視するとは何事ぞ、之も娼妓なるものは人間外れにて人の交際は出來ぬもの物品同然のものなりと思ひ死したりとて物品紛失位に考へ可憐なりと同情するものは幾何あるや目藥の程なるべし、公娼制度を廢するに先立ち此んな奴等を廓清する必要があると思ふ。

盆踊問題に付き

埼玉　中里正次郎

盆踊に付き大分可否の議論があるやうだ、或は風致上より全廢す可し、或は古俗にして農村の娛樂なり、盆踊大に可なりといふ。吾人をして云はしむれば、全廢說に左袒す。贊成論者は異口同音に農村娛樂機關なりといふ。然れども是れ眞相を識らざる机上の空論に非ずんば、臭い者身知らずの論也。吾人の敢て問ひ度きは若し果していふが如く農村の健全なる娛樂機關ならば、何故之れを都會の紳士淑女學生等にも鼓吹せざるや。元より農村の物を移して直に都會に適用する能はざるものあらん。乍併盆踊りが農村に於て趣味あり雅致あり健全なる懇親娛樂の一行事であるとするならば移して以て都會に鼓吹すべきものであらうと思ふ。若し都會は種々の娛樂機關備はれるが故に必要なく、農村の青年は趣味低級なるが故に適すと云はゞ、之れ我等農民を侮辱する甚しきものなり。農村々々と云へばとて文明の空氣の全く通はざるが如きは今日に於ては甚だ少し、都人士にとりて健全なる娛樂はまた農村の健全なる娛樂にして、農村に容る可からざる惡俗陋習はまた都會にも容認さる可きでない。吾人は男女間を純潔にせんとする立場より、野合の最も平然として行はるゝ盆踊りなるものに對し、飽迄反對を表する一人である。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

熱血紅涙

大橋三郎君（山口）　數日前小生當地へ轉任する樣相成候處、來る早々當地に貸座敷を新設する運動開始致し居候趣承はり甚だ心外に存じ、今の中に是非反對運動を盛んにして喰ひ止め度く、昨夜も其爲め特に公娼問題に就て演説致し候。就ては何卒廓清會本部の御同情と御援助を御願申上度切望に堪へず候。斯かる時に如何なる方法により如何なる運動をなすべきか何卒十分に御指導を賜はり度候。又茲に村長村會議員などの名を記し候間適當なる雜誌御惠み被下度、山室軍平氏の「公娼全廢論」などご適當のを御選擇なし御發送の手續なし下され候はゞ誠に好都合に候まゝ、勿論此等の書物代は代金わかり次第早速御送附可申上候。御此村は本年御大典を記念として町制に改むる積りにて、貸座敷も土地繁榮ならしむる爲めなりとの一部のものゝ考より起りし事と存じ候。

刈谷久惠君（高知）　流汗絶間なき酷暑の候には候へ共天父の御祝福の下に御貴社御一同樣益々御壯康にて社會廓清の爲め御粉骨の勞も御いとひなく御盡力の事と誠に有難く感謝致し居り候、扨て廓清會は現今社會の鹽とも光とも存じ誠に墮落せる婦人の救濟而巳ならず、土につける如き婦人の思想をして高潔ならしめ且つ男女をして其の天與の分を知らしむるは廓清誌と非常に各先生達に敬意と感謝の念に打れ居り候、願はくば社會廓清の大任を負はせ給ふ諸先生の上に天父の御祝福豐かにあらん事を祈上候。

半田平兵衛君（栃木）　御會益々御盛況奉賀候就而今回當地支部建設の件に付き御高論を給り難有感嗚に不堪候、當地風敎の爲め元より希望する所には篤と同志に相談の上御願申上べく、右御承引被下度、先は御答へ迄、斯くの如くに御座候

無名氏君（牛込）　暑氣嚴敷折柄御恩寵のもとに益々御清榮爲會爲主義御盡力下され候事難有感謝いたし候、來る四日總會開催の由誠に愚見には候へども其前若し御寸暇も有之候はゞ御參考の爲め所々の寛廓（龜井戸遊[illegible]地、馬喰町、新代、五反田、澁谷等）に夕方より一應の探檢被下度實に驚く可き有樣に候。

廓清會矯風會の當局訪問其他の運動も結構に候も、當局者は只表面よき加減に應接せられ、誠意なき有樣にて、私共ある寛廓方面の內情をよく知る者より承れば、其筋にて取締きびしくなし時々臨檢なせば、風紀は自然改まるとの事、それにて大演説會にて輿論を喚起し當局の反省を促す必要大切と考へ、數ならぬ者の愚なる意見御清鑒を煩はし候敬具。

小林政治郎君（長野）　酷暑の候、益々御清祥の段奉賀候、扨而過日中野警察署の件見に角今回は告訴して以て該警察署の暴擧を斷絕致す心算に候、就ては本部にては近々の內に會員勸誘がてら當地に御出張なさる由聞及び候が、何日頃に相成候哉過般の件の效果に由つては自然企望の娼妓も續出す可しと考へ居候故、何卒御來援の上、彼等無告の奴隸を援出し度常に祈り居候、過日御願申上候通りの山室大佐殿の處に在る證據物件參考の爲一寸御覽被下度、尙又告訴の可否と御來援の日とを最大至急御知らせ被下度。此の如き弱者を虐ぐる暴戾極まる警察署は一日も早く廓清致す可きは本會員の責務と考申候

高橋芳吉君（山形）　太田彌三郎氏の紹介に依り貴會の一分子たる光榮を荷ひ候へ共、未だ何分にも微弱な身に候間、宜く御指導被下度候、次に前號時言「吉原と淺草との爭」中に私娼擁護演説會云々の記事有之候、嗚呼實に奇怪の極と存ぜられ候、該演説會は如何なる問題の元に辯ずるものに候哉、且聽衆は何者に候哉、斯の如き醜態を演ずる現代にありては如何にも廓清會の起らざるを得ざる所以と存ぜられ候

中澤今治君（豐橋）　娼妓自由廢業案內を御送被下度しと金拾五錢を差上げたのですが本は來ませんで會則が來ましたが如何したのですか、勿論人を集めて入會を進めよとは思つて居ますが、（で私は麻布青年會員であります）何に致せ本を送つて下さいませんか御願ひいたします。豐橋も實にいやな場所であります澤山な兵士なぞは遊び場所へ入り込んで居ますそれに土地の青年の氣質も皆淫廓に流れて何んとかしたいものと思つてやつて居ます。

會費の納入

従來會費はすべて前金に納入せらるべき筈なるに滯納の向少からざるは遺憾也。僅少なる金額の事故なるべく督促を受くる事なきやう御注意相成り度し

振替東京二七〇七二番

會員の轉居

御通知の際は必ず新舊兩住所を併記せらる可し

本部の移轉

本部は七月より左の處に移轉したり

東京市芝區三田四國町二番地

廓清會本部

電話芝五八五五番

大正四年九月一日納本　一部定價金六錢
大正四年九月一日發行（毎月一回十五日發行）

編輯兼發行人　神田區今川小路一丁目三番地　伊藤秀吉
印刷人　神田區三河町一丁目十四番地　小林照雄
印刷所　神田區三河町一丁目十四番地　丸利印刷所
發行所　芝區三田四國町二地　廓清發行所

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori. Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA.

Within a few minutes from the Chigasaki Railway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone : Chigasaki No. 2

院長診察、月、水、木、金午前、入院隨時

林、峰間兩副長は目下當院に在勤

東洋內科醫院

電話番町六二番

麴町區三番町三十番地

院長醫學士 高田畊安

神奈川縣高座郡茅ケ崎町柏海濱、停車場より半里

南湖院

電チガサキ二番

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察、土曜日午後、入院診後應需

（明治四十四年八月一日第三種郵便物認可）（大正四年九月一日納本）（毎月一回十五日發行）

最近市内の有力なる小賣店の報告に曰く
クラブは一番品が良いので

齒磨モ白粉モ洗粉モ

近來クラブばかりが
賣れて居ります

クラブは一番品か良いから
近來面白い樣に賣れて居ります

一部定價金六錢